

## 問 11 「市民活動」についてのご意見

### 1 市民活動全般について 46 件

- 「昨年と同じ内容」「昔の知識」をそのまま使ってよいところと、使わないほうがよいところがある  
と考える。その分け方を、人間関係のしがらみや金銭に振り回されずにしっかりと判断することが  
が、難しいと思うが一番大切であると考えている。 (男性 30 代)
- 地域会などによる参加の強要がなくなればよい。高齢化や病気など、参加できない理由があっても  
参加せざるを得ない風潮は今どきではない。持病を持つ人たちを市民活動に強制することに何の  
メリットがあるのか。自由に動けない人々のことをもっと考えてほしい。 (女性 30 代)
- 市が目指す方針に魅力があれば、若い世代の活動も盛んになると思う。市の方針は閉鎖的に感じる。  
(男性 40 代)
- 市民活動にはラジオエフのDJも参加することが重要であると思う。 (男性 40 代)
- 強制されるものではないので、あくまで自主的に活動する人が増えてくれば住みやすいまちにな  
っていくと思う。 (男性 40 代)
- ロゼシアターの音楽活動はよいと思う。 (男性 40 代)
- 一人一人が参加しやすい活動、やってよかったと思える活動をしていくのがよいと思う。  
(男性 40 代)
- 活動してくださっている方々には感謝している。 (男性 40 代)
- 子どもが就園前に近所の遊び場をよく利用していた。年2回ほど、地区の方々が除草・清掃活動  
をしてくれてとてもありがたかった。聞くと、地区の子ども会を中心に行っている様子。子ども会に  
入る頃には同じように活動したいと思う。 (女性 40 代)
- いろいろな活動があり、推進や支援・促進など進めている中で、一部の市の担当者のやる気を感じ  
ないところを見たり感じたりすると、こんなものかとモチベーションも下がる。 (男性 50 代)
- 私は足が悪いため、ボランティアにはむいておらず申し訳ない。市民活動について偉そうなことは  
言えないが、体に気をつけて市民活動を頑張ってもらいたいという気持ちがある。 (男性 50 代)
- 活気がない。地域活動・催し物など、まだコロナで中止となっている。 (男性 50 代)
- 自主防災訓練はすばらしい活動だと思う。 (男性 50 代)
- 一人一人が市民活動に意識をして活動することによって、その市の地域の活動全般の充実ができ  
ると思っている。 (男性 50 代)
- 縦横のつながりの創出が必要だと思う。 (男性 50 代)
- 分かる範囲だと、地域の方の朝の旗振り、本の読み聞かせ活動にとっても感謝している。おかげさま  
で、朝は安心して送り出すことができている。 (女性 50 代)
- 継続が大切。 (女性 50 代)
- 少子化が進むので、定年を迎えた元気な熟年層を利用して、若者世代が手の回らないところへ配置  
し、社会を回していくように誘導してはどうか。 (女性 50 代)
- なかなか自分から率先してやろうとは思わないが、この地域のためになるのであればという気持  
ちはある。市民活動をされている方はすばらしいと思う。 (女性 50 代)

- 町内の区役員や民生委員・児童委員・保護司など、なり手がいないとよく聞く。市・県職員をリタイアした人ほどやってくれない。そういう人がもっと地域の活動に参加していただけないものだろうかといつも思う。(女性 50 代)
- 目立つ活動をしてほしい。(男性 60 代)
- 昨年、小学校で「トークフォークダンス」に参加した。地域の小学 6 年生全員に声かけをし、100 人以上が参加した。学校のボランティアから子どもたちの考えや行動、知らない近所の人からの話などを聞き、私たちもとても勉強になった。富士市の足りない点などを子どもたちの目線で知ることができた。そんな意見を無駄にしないよう、行政の人たちも考えたほうがよいのではないだろうか。市民活動とは、少ししたところから生まれてくると思う。私は学校の活動に参加できてよかったと思っている。富士市は、どこにいても富士山がとてもきれいに見えるまちだと思う。富士市に 65 年住んでいるが、人が集まる魅力的なまちではない。年々寂しさを感じる。工業地域でありながら、人口も県内で 3 番目。ショッピングをするにしても市外・県外に行くという傾向があり、富士駅周辺も寂しい。新富士駅までは距離があり、不便を感じる。富士駅前にアウトレットができればよいのにと通るたびに思う。マンション反対。(女性 60 代)
- 市民活動をしている人を知っているが、誰かのためとかではなく、自分のため。誰かの役に立ちたいと志が高い人がたくさんいる。中には口だけの人もいるが、活動している人には頭が下がる思いである。(女性 60 代)
- 市民のための活動をするのは大切なことだと思う。全ての人が善良なことだと思ってほしいが、批判的な人も多く、聞くに堪えない。みんなで活動を盛り上げてほしい。(女性 60 代)
- 月 2 回、地区まちづくりセンターを利用して、紙バンドの稽古に行っている。新しい作品を作るときには、色や大きさ・編み方を気にしたり、人が作ったものを見て「すてきだ、私も今後作りたい」とワクワクしたり、悩んだり、脳が活性化されていると思う。市民活動の趣旨とは少し違うかもしれないが、日々の普通の生活を送る中、とてもよい刺激となっている。(女性 60 代)
- 一般市民のボランティア・市民活動への関心を深めること。全てが地域役員だけの活動になってしまっている。(女性 60 代)
- 今まで活動の中心になっていた人たちの高齢化で、活動の継承が次の世代にできず、消えていくものが多い。多勢で動いたり活動したりすることが敬遠され、少人数のグループで活動したがる。今の時代、コンパクト化もまたそれはそれでよいのかもとも思う。(女性 60 代)
- 自分の時間を他人のため、みんなのために使っている人を偉いと思う。(女性 60 代)
- 仕事や子育てで忙しい日々を過ごしている人が多いと思うが、今活動している人たちが、まだ活動していない人たちを誘って、みんなが無理なく、少しでも地域活動に参加できたらよいと思う。活動に参加すると、地域・富士市のことが以前より分かるようになり、よい体験になる。(女性 60 代)
- あっぱれ富士の運営に関わったり、よさこいチームで地域のイベントに参加したりしている。年齢・地域問わず、富士市を盛り上げるために、よさこいの歌詞に富士市のよいところを盛り込んだ曲で演舞したり、産業である紙バンドを髪飾りにしたり、市外に遠征に行き、微力ながら富士市をアピールしている。(女性 60 代)
- 港のにぎわいづくりの活動は、全く方向が違うと思う。港は工業港としてスタートしたものであり、その目的と違う方向へ向かっても無理。(男性 70 代)
- 駅南地区福祉推進会の一員として、四丁河原南区で高齢者の見守り支援者として、これからもみんなとともに福祉活動をしていきたいと思っている。(男性 70 代)

- 災害ではないが、市民活動に対しても共助が少なく、公助ばかりを求めるようだ。せめて最低限の奉仕活動、組長・班長の役務、ごみ当番などを実施していただきたい。（男性 70代）
- 現在、非常用給水器の購入を区・班に広げて話を進めている。まちづくり協議会・小学校・中学校にも購入が必要と考えている。まちづくり協議会・区長会・交通安全協会で、田子浦地区の小学生に自転車用ヘルメットの贈呈を行っている。（男性 70代）
- 仲間づくりが第一歩だと思う。（男性 70代）
- 活動するに当たって役人的発想は止めてほしい。（男性 70代）
- 今思うと、今まで市民活動に協力的でなかったと反省している。北海道から出稼ぎで富士市にたどり着き、自営業に励み土日も休みなしで働き、70歳を過ぎても仕事に励んでいる。令和5・6年と、富士市男女共同参画地区推進員活動に協力している。（男性 70代）
- 防災の日の地区の訓練は時代遅れ。参加者減少が寂しい。防災の避難所・公園・学校・防災倉庫がないのはどうするのか。（男性 70代）
- 市民活動をしている人たちに感謝している。（女性 70代）
- 富士市は地区まちづくりセンターが充実していて、市民活動が活発に行われていると思う。今までどおり、市で運営されることを願う。（女性 70代）
- まちづくりセンター講座を利用している。もう少し講座数が欲しい。個人の興味・関心などを大切にし、選択できるものがよいと思う。地区まちづくりセンターは地域の拠点なので、もっと住民の気持ちや現状の把握をしてほしい。富士市の現状や問題点などを、広報ふじのような放送を通じて行い、簡単な活動のお知らせや市からのお知らせなど、高齢者から子どもまで「富士市はこれ」という、誰もが知っていてアピールできるものを絞って活動してほしい。それと同時に多様化している世の中なので、自分からやりたいと思えるような市民活動の冊子を作り、ボランティアなどを募るとよいと思う。気軽に参加でき、自分の興味や関心のあるものが見つけられると思う。現在もあるのだろうか。まず、このまちや講座の中に、このアンケートにあるような生物多様性保全活動事業なども入れていくと参加しやすいのではないだろうか。お茶の手もみからおいしいお茶の入れ方の会など。（女性 70代）
- 30代半ばから福祉団体に所属している。重度障害の方と知り合い、日々交流を深めていくうちに、地域に見えない障害者が多く住むことを知った。高齢者の一人暮らしは見える部分では分かってきたが、40年が過ぎた今でも、個人情報保護法が邪魔をして、障害のある方の家庭は見えない。地域活動は、日々の暮らしの中で見えてくることがある。こつこつやっていくことが消えていく昨今、便利な世の中だけがよいのではないと深く考えさせられる。いくら相談窓口を増やしたとしても、悩み・障害を抱えて生活している人たちがそこに行かないならば意味がない。そんな人も地域にはいる。（女性 70代）
- 若い人ばかりではなく、時間に余裕のある元気な高齢者も役立ててほしい。（女性 70代）
- 災害防災活動の定着を図るよう、活発な活動を行ってほしい。（女性 70代）
- 学生時代は歴史や英語が好きだったので、今も読売新聞などで勉強している。マラソンも、以前はふと思い立っていろいろな大会に参加し、充実していた。今は体調を崩し、外へ出るのがつらくなってきたが、たまに栄養学の講習などに参加している。市民活動は外に目を向けることができ、本当にありがたく思っている。少しでも経済的支援などに協力したいと思っている。（女性 70代）
- 市民活動が盛んになることはとてもよいことだと思うが、各地域で半強制のようになってくる活動はあまり認めることはできない。（女性 70代）

## 2 市民活動参加の方策について 27 件

- 市民が参加したいと思える活動を行えるようにするとよいと思う。 (男性 20 代)
- 参加する人は損得を考える人でないから、出ると思う。参加しない人を集めるためには、出たことで得することを設けるべきだと思う。 (男性 20 代)
- 子育て家庭がもっと参加しやすくなるような対策が必要だと思う。 (女性 20 代)
- どのことが市民活動というのか、ぱっと見て分からない。知らないところで知らないうちに決まって、誰かがやってくれているというイメージ。ボランティアなのかシルバーなのか区別がつかない。市民活動を大事にしていきたいならポイント制度などをつけて、貯めたらティッシュがもらえるなどにしたら増えるかもしれない。 (女性 30 代)
- 様々な活動があると思うが、内容や主催者・参加者に大きく偏りがあるように思うときがある。誰もがもっと身近に感じ、参加しやすい体制をつくっていただきたいと思う。 (女性 30 代)
- 若者の関心を得られるかが重要だと思う。 (男性 40 代)
- 例えば、今から市民活動に参加してと言われても抵抗がある。何らかの団体や地域活動の一環として参加する場合は参加しやすい。一人で市民活動に参加するとなると、とても勇気がいることだと思う。参加せざるを得ない状態だと参加する・できると思う。 (女性 40 代)
- 市民活動とはボランティア活動のことなのだろうか。または、その逆なのだろうか。子育て中で、仕事と家庭・習い事の送迎で毎日が過ぎ去っていくため時間がなく、市民活動について考える余裕はない。子どもと一緒に参加ができ、社会の勉強や運動を通しながらもボランティア活動がセットになっていたらどうだろうか。参加費の代わりに、最後はごみ拾いや池や川の掃除、会場の片づけを行う。そういったセットであれば、いつの間にか参加し、使用させていただいたらお返しをすることが身につくのではないだろうか。また、働き盛りの人は、人手が足りれば仕事をするべきだと思う。経済は大切。定年退職をされても元気な方はたくさんいる。健康維持・認知症対策のためにも、市民活動に参加していただけるように促すほうが、介護保険制度の問題に一つ光が見えないだろうか。 (女性 40 代)
- 負担が大きいと参加しにくいし、誘いづらい。昔と今では生活スタイルも違うので、地域の行事も考え直したほうがよいが、高齢者には理解してもらえないので、協力したくてもできない家庭が多く、参加しないという形になってしまい、逆効果になっている気がする。 (女性 40 代)
- 参加する人が特定されてしまっているのも、より多くの人が参加したいと思えるような取組が必要。 (女性 40 代)
- 自助・共助・公助の観点、持続可能な社会の実現の視点から市民活動を考えると、地域で協力することは不可欠であるのは確かだが、生産年齢にある住民の時間とお金の観点から考えると、地域の活動に貢献しにくい環境であることもまた事実である。これはいまだ解決されていない社会的課題。選択肢にもあったが、ボランティア休暇など、公に企業を支援する制度が拡充され、積極的に周知されれば、ボランティア活動に対する関心が必然的に高まるのではないだろうか。学校における部活動のように、どこに所属し、何を活動するかを選ぶことができれば、その活動は経済・社会活動の一環としてシステムに組み込まれ、循環していくだろう。ただし、活動に対しての周知と啓発を促すことに終始するのは、効率的とは言えないのではないだろうか。現存する市民活動のうち、成熟している活動については、草の根で持続・強化していくことが重要。そして、消極的な排除を目的とするのではなく、積極的な活性化を促すグループとして、活動を促したいターゲットを明確にした団体・活動を創出することにより、メンバーの所属意識が高まり、活動の活性化や目的の集約が図れると考える。「市民活動・ボランティア」という言葉からは、まだ活力ある篤志家や時間がある人が参加するものというイメージがある。少人数で大きなことを行い、各自の負担が大きいことがそのようなイメージをつくっていると感じる。活動意欲があっても事情で参加できない人に対して寛大でありながら、活動に対するモチベーションを高めるための広報活動や声かけを促すことができる大きな母体も必要ではないだろうか。 (女性 40 代)

- 意外と、興味はあるけれど、どう参加すればよいか分からない人は多いのでは。ハードルをいかに下げるかが肝心かと思う。(女性 40代)
- 周りは高齢者ばかりなので、市役所に市民活動のオープンスペースを用意し、掲示板やチラシを置いて広報ふじなどでどんどんPRして参加者を募るべき。(男性 50代)
- 市民活動に参加したことにより、何かしらの特典をつけたほうがよい。金銭ではなく、申し込んだイベントの抽せん時に優先的に当せんになるなど。(男性 50代)
- やりたいと思っけていてもどうしてよいか分からない人は多いと思うので、そういう人たちと市民活動をつなげる施策をお願いしたい。(男性 50代)
- 市民活動が大切なことは分かっているが、日々の生活をしていく中で、休みも少なく働いていると、なかなか参加することが難しい。休日などではなく、企業での市民活動があると参加しやすいのではないかと思った。(女性 50代)
- 市民活動をよくしようと、仕事終わり、休暇を多く使用してもその場限りで終わってしまう。過酷と思われて次のステップに進まない。何かで返ってくれば、少しはよいのだろうかと思う。このままでは、いつも参加する人は一緒なため、新しい意見は見つけれない。だんだん意欲が下がるので離れてしまう。もっと上手に情報の提供ができ、参加したことに意義があることが伝われば、参加する人が増えると感じた。子どもが少ないと嘆くのなら、まずは今いる未来の子どもたちに、先にある未来は自分で決めて、すばらしい世界があることを伝えたい。(女性 50代)
- 新しく近所へ引っ越してきた方々も、結局、今の世の中だから仕方ないのか、顔も分からない。そんな中で急に「参加しましょう」と募ってもなかなか集まらない。まずは、町内の交流から徐々に進めていかないと、いきなり富士市全体で頑張らしようと言われてもうまくいかないし、やる人がいつも一緒になってしまい、参加しない人はますます遠ざかると思う。多少の強制があってもよいと思う。(女性 50代)
- 私たちの世代は市民活動と仕事の両立をすることが可能だったが、子ども世代を見ていると、職場の人員不足や業務の多忙化などで、市民活動や子育てなど、仕事との両立が大変難しいと感じている。働きやすい・子育てしやすい環境に近づくことで余裕が生まれ、市民活動にも参加することができる時間が取れるのではと考える。(女性 50代)
- 気軽に参加できる基盤の構築が重要だと思う。(男性 60代)
- 吉永地区は高齢者が増え、町内会やお祭りの行事などが難しくなっている。地域の活動に参加する若者が少ない。時間的な問題なのか、人との交流・コミュニケーションが取れないのか、人と人がふれ合うことがコロナなどで失われたように感じる。まずは身近なところから、何かに参加する人に接する機会を若者に与えてほしい。(女性 60代)
- 生活に不安や心配もなく過ごしているので、いざ市民活動をと提議されてもピンとこないのが実状。60代になり、若い頃の意欲が薄れてしまい、市民活動にあまり関心が持てない。しかし、身近にきっかけがあれば活動に参加する意志も湧くのではないかと思う。講演会・セミナー等の情報にもっと注視しなければと反省した。(女性 60代)
- 個人では市民活動は難しいと思う。団体組織化をもっと広めてくれれば、参加も考えられるかもしれない。(女性 60代)
- 経済的にも精神的にも安心して生活できれば、それぞれの気持ちに余裕ができて市民活動に参加できると思う。(女性 60代)
- 参加しやすいように工夫する。人との輪を大切に活動すること。(男性 70代)

- なかなか、自分から進んで活動の輪に入れないので活動できずにいる。きっかけがあるとよいと思う。  
(男性 70 代)
- 活動しやすい機会をつくること。まずは第一歩が大事だと思う。  
(男性 70 代)

### 3 市民活動の環境の整備について 30 件

- 主にボランティア活動だと思うが、何かメリットがあればみんな楽しく頑張れると思う。  
(男性 20 代)
- 「活動拠点の整備や活動場所確保」「活動している人同士の交流や情報交換の促進」は特に重点的に意識してほしいと感じる。私は正直、人に富士市を勧めたいとは思わない。なぜなら、富士市から連想できる場所や革新的な活動がないと感じるからだ。そのため、市民にとってのニーズは何なのかということを、市民らが話し合っ意見を出すなどの集まり、交流は非常に大事だと思う。そのような市民の活動が、富士市をさらに動かすのではないかなと思う。  
(女性 20 代)
- 個人・企業・市との協力が必要だと思った。  
(男性 30 代)
- ボランティアとは何だろう。今してくれている人はいつからしようと思ったのか、なぜボランティアをしようと思ったのか、それはその人次第だと思う。浜や松林・川・地域を美しく守るのは大事だと思うけれど、少ないのが現状。地域の役職でつき合わされている人などはいるはず。ボランティアとは違う名目でやってみては。  
(男性 30 代)
- 自分ができない分、代わりにやってくれている人がいることに感謝している。個々に余裕がないとできない活動であると思うので、様々な意味でのサポートが必要だと思う。  
(女性 30 代)
- 市民活動は活動者たちの心身が豊かであり、活動しやすい環境が必要。活動したことによって何が得られるか、何が得たいかは、活動者によって違う。せめて、活動したなら利益が出るようにするのがよいのでは。  
(女性 30 代)
- イベントごとや市民活動において、ボランティアとして動いていただいている人の存在は必要だと思うが、主体となっている組織や周りで動いてくれる人たちの時間や労力を「市民のため」「市の活動のため」などの言葉で当たり前のように無償で提供させるようであれば、それは衰退への近道になると思う。その方のおかげでイベントや活動が行われ、参加した人は楽しさや知識など得るものがあるが、そこで動いてくれていた人たちのことを知る機会はほとんどないことも忘れてはいけないと思う。広報などで協賛や実働団体などの掲示をしても、それを見ている参加者がどれだけ少ないかを、大元の人間は知っていたほうがよい。知り合いがいる場合以外は注視することはほとんどない。ということは、ボランティアとして働いてくれた人たちの時間と労力とやりがいは、全てとは言わないがほとんどは誰にも知られないまま搾取されているようなものではないのかと疑問には思う。  
(女性 30 代)
- ウオーキング及びノルディックウオーキングをよくやっている。これらはどこでもできるが富士市はスポーツや運動をするための場所がなさすぎる。中央公園や富士川緑地くらいしか広大な場所がないので不便さを感じている。  
(男性 40 代)
- 市民活動そのものはよいことだとは思っているが、活動方法・運営方法においてのルールづくりが、活動している人たちにのみ都合のよいものになっていることがあってはならないし、社会状況の変化に対応して変化する活動であってほしい。  
(女性 40 代)

- 市民活動ができる人、子育てや仕事で時間に追われてほかのことはできない人、いろいろな人がいる中で、できない人も尊重されるようにしてほしい。町内会の活動も、以前住んでいた地域より多く、休日をそういった活動で時間を取られて、休みを休みとして過ごせない上、市民活動まではとてもできない。住民の高齢化も進む中、もう少し負担なく活動できたり協力できたりする体制をつくっていただけたらと思う。 (女性 40代)
- どの活動においても、ボランティアではなく明確な有償にしてはどうだろうか。 (男性 50代)
- 最近、地域コミュニティが希薄になってきている。地域に住まわせてもらっている、地域に貢献したいと思う人が少なくなっている。市民活動を通じて地域貢献することは、そこに住む人の責務と考える。災害が起こった後、復旧・復興するスピードが速い地域は、市民活動が活発に行われ、地域コミュニティがしっかりしている地域である。市民活動に対し、経済的な支援も必要だと感じている。行政・民間企業が協力体制を強固にして支援していくことが必要である。 (男性 50代)
- 損得で考える人に依頼することはできるのか、損得なしにどうできるかを考えること。損得なしにやる人に負担をかけないこと。 (男性 50代)
- 自由に参加できること。発言の機会が均等に与えられること。全ての情報が隠されることなく公開されること。これらが実現すれば、前に踏み出す人は少し増えるかもしれない。後はリーダーの心構えだけだろう。 (男性 50代)
- いろいろな市民活動に参加、または主導しているが、富士市のバックアップ体制は十分なのか、疑問が残る。 (男性 50代)
- 基本ボランティアだとは思いますが、寸志的な手当があつてよいと思う。 (男性 50代)
- コロナ禍を経て集団より個を主張する風潮に拍車がかかり、地域においても自分と家族さえよければと考え、地域のためにとは考えない人たちが増えているように思う。そのような中で、自分の意志で活動しているのではなく、町内会・PTA・子ども会など、これまで当然だった活動も任意だからと辞める人が増え、辞めなくとも役を担いたくないと感じる人が増えている。そんな気持ちでも、くじが当たってしまい頑張って役の仕事をしてくれる人もいる。みんなが嫌だからなくしてしまおうという主張も聞かれるようになり、実際になくなっているところもある。しかし、地域と関わる活動は子どもの成長過程で大切だと思う。地域に思い入れがない、愛着のない子どもは、将来大人になったときに「富士市へ戻ろう」「富士市に住もう」と思わなくなってしまうのではないだろうか。このまちの将来のためにも、子どもたちが地域に愛着を感じられるようになることがとても大切だと思う。風景・伝統行事・近所の人・友人や先輩後輩など、大人になるまでに地域にどっぷりと浸かるような活動が大切だと思う。富士市では現在、外国人移住者も多いと聞く。地域になかなか溶け込めないで困っている人たち、特に子どもたちもいるかと思う。人口減少が続く日本では、外国人の彼らも将来の社会の大切な担い手である。彼らが地域にうまくなじめるような活動も大切かと思う。地域活動の役員などは人気がなく衰退の一途をたどっているが、これを進んでやってくれるようなシステムを構築してくれるとよいと思う。例えば報酬。金銭でなくても、地域で活用できる地域通貨のようなものを考えてみるとよいのではないか。何かモチベーションが上がるものがあるとよいと思う。 (女性 50代)
- 有償ボランティアの普及。 (女性 50代)
- そもそも、これらの活動をボランティアでできる人が少ない。よほど余裕のある人でないと、仕事や学業に追われるため、活動自体が難しいと思う。もしボランティアでできたとしても、それに対する経済的・社会的支援がほぼ皆無と見える。特に犬猫などの動物保護活動に関しては、現場の方から支援が少なく大変だという話を聞いたこともある。市民活動を促すなら、市民活動のできる環境づくりとそれに対する手厚い支援が必要に思う。 (女性 50代)

- 富士市が変わるためには、市役所が率先して変わろうとする活動を支援しないといけないと思う。  
(女性 50 代)
- 市民活動が盛んになるためには活動拠点の整備、活動場所の確保が必要だと思うのだが、地区まちづくりセンターの使用を有料化しようとしたり、老朽化施設の廃止に対して代替施設が用意されなかったりと、市民活動推進とは逆行する施策が考えられている。局所は近視眼的な効率化よりも大局的な視点で考えることが必要なのではないか。未来をつくるという意識が重要に思う。  
(男性 60 代)
- 地域の若い人が減少してきて、地域活動も高齢化してきている。若い人が地域に残り、暮らしやすい支援が必要と考える。  
(男性 60 代)
- NPO 法人で障害者に関わる仕事をしている。地域の人たちの障害者への理解とともに、障害者が広く社会に出て、積極的に活動できるよう環境を整えてほしい。  
(男性 60 代)
- 地域に根ざした活動の場合、活動場所の確保が必要だと思う。また、情報化社会の中、情報機器の操作方法など、発足から支援のいろは・補助制度・発信・次へのつながり・発展と、一連の流れでの支援があるとよい。現在もあるのかもしれないが、自分でつなげるのは大変。  
(女性 60 代)
- 生活環境が変わっているので仕方ないかもしれないが、私たちが子育てしていた 30 年以上前と比べ、人とのつながりが減っていて地域でも知らない人が多くなっている。災害などが起きた場合に困ると思うので、ふだんから市民活動の場を増やすことは必要だと思う。子どもたちが公園などで元気よく遊び、それを見守る人たちが増える世の中になるとよいと思う。  
(女性 60 代)
- 市民活動としては年 3 回の川の清掃を行っている。本来なら、市の河川事業としてやるべきではないかとの声も上がっている。次第に地域も高齢化していく中での難しい問題である。コロナ禍だった頃は、地域の体育祭やお祭りなどが中止もしくは規模縮小で行われてきた。出席する側や主催する側の負担となっているのが事実。今後のあり方を検討していく必要があるのではないかとと思う。  
(女性 60 代)
- 行政と協働し、市民活動を行う団体同士が顔の見える関係性を持って目的別に活動しやすくするネットワークづくりが大切だと思う。  
(女性 60 代)
- どの自治体でも財政問題を抱えているが、それを前提に前向きの発信を願いたい。地区まちづくりセンター有料化の提案で、施設を利用するのだからと負担をお願いする、使用しない人の不利益、冷暖房費が上がり運営が困難であるといった説明を、市役所から公式メッセージと言われなければならないセンター長がかわいそう。説得力がない。市民の中には図書館を利用しない人もいるが、本の貸し出しになぜ 100 円を取るのか。市役所の冷暖房費も上がっているが、市の会議室の冷暖房費も有料にするのだろうか。  
(男性 70 代)
- マンネリ化した年間行事が多い。現状の地区の問題点が明確になっておらず、ただ 1 年を過ごしているように見える、地域の高齢者支援、問題点を把握、対応していくことができている地区を目指し、地区内で個々人が責任ある生活活動を目指す。  
(男性 70 代)
- ここは新規参入者の割合が多いためか、地域への愛着があまりないと思う。そのため、地域を盛り上げようという気運の高まりを感じない。地区の班長は仕方なく順番どおりに回っていくが、そのほかの地区の役員はなかなか決まらず、特に区長ともなるとくじ引きで決めるようなありさまなので、余計に今までやっていた行事さえも止める方向に持っていこうとしている。このような状態では、地域の振興は難しいと思う。  
(女性 70 代)



#### 4 市民活動の経済的支援について 7 件

- 富士市消防団・水防団に対して経済的支援をしっかりと確保してほしい。 (男性 40 代)
- 殺処分ゼロ。猫の保護活動で頑張ってくれている施設、個人への資金の援助をしてほしい。お金で協力することができる。保護した子猫たちの食費・医療費等を援助してあげてほしい。 (女性 50 代)
- ボランティアと言えども、何かやろうとすると資金はかかる。 (男性 60 代)
- 経済的援助がなければ、意味のある市民活動とはならず、継続性も得られないと思う。 (男性 60 代)
- 高齢化に伴う孤立対策にも、市民活動は有効だと思う。ただ、あまり行政が関わると自立性が失われ活気を削ぐ形にもなりかねない。一番よいのは経済的支援だが、現状のように厳しくするより、参加者にある程度のうまみがあるくらいの制度設計のほうが効果的かもしれない。 (男性 60 代)
- ボランティアで活動してくださる人にもっと経済的な支援が必要だと思う。 (男性 60 代)
- 市民活動を頑張っている人が存分に活動できるように、市のほうで援助支援をしっかりといただければと思う。高齢世帯の支援・動物の保護活動・貧困家庭の子どもへの支援など。 (女性 70 代)

#### 5 欲しいと思う市民活動について 19 件

- 10 代や 20 代が魅力を感じるような市民活動を開催してほしい。 (女性 20 代)
- 私は障害を持っていて、地域の人と関わるのが少ないので、もっと体の不自由な人が地域で暮らしていることを知っていただけるような活動があるとうれしい。 (女性 20 代)
- 支援学級の子どもたちでも参加しやすいボランティアや活動があつたら参加してみたい。迷惑になりそうなので今まで参加できなかった。 (女性 30 代)
- 災害に対する意識醸成。南海トラフ地震に対する備え。訓練の実施。耐震に対する助成金のさらなる拡充。 (男性 50 代)
- 富士市がどのようなまちを目指しているのか分からない。魅力ある富士市になるような市民活動が増えるとよいと思う。 (男性 50 代)
- 市民が楽しく無理なくできる活動。 (男性 50 代)
- 興味の持てるセミナーなどがもっとあればよいと思う。 (女性 50 代)
- 自然にふれ合いながら生物多様性を学べる課外授業を、義務教育中に少なくとも 1 年に 1 回は取り入れて、危険なこと・大丈夫なこと、危険な生きもの・大丈夫な生きものなど、リスク回避できる判断力を養えるように人間形成をしていく教育も必要だと思う。そのようなことを実践指導できるボランティアを養成するか、募集して活動できる環境を、市が中心になって行動に移すことが必要ではないだろうか。 (男性 60 代)
- 市民活動に参加している人は、ほんの一部の人だと思う。多くの人が参加できるような活動が大事だと思う。 (男性 60 代)

- 明確な目的を持った活動はよいと思う。ただ数を増やすなどであれば必要ない。富士市は住みやすいまちであるがゆえに、そこで満足し、他地区・県外などとの交流が少ないと思う。地域の活性化が全く進まない。せっかく富士山があるので観光のアピールをするなど、市から SNS で発信し、ほかから人を呼ぶことが必要だと思う。メディアを活用し、まちおこしのための市民活動を広げたらよいと思う。  
(男性 60 代)
- 市民が理解している活動がないのではないかな。組織的・体系的な活動が必要なのではないかな。  
(男性 60 代)
- 市の LINE で不審者出没が多いこと、また、大人をおどす青少年などが見られることから、地域安全、子どもの健全育成に力を入れるべきだと感じる。  
(男性 60 代)
- グローバル社会において国際協力も必要なので、交流や情報の交換の場が今以上に必要かもしれない。  
(男性 60 代)
- 自由に参加できる活動。  
(男性 60 代)
- 住みやすいまちづくり。老若男女、快適に生活できる環境を整える活動が必須だと思う。  
(女性 60 代)
- 義務感で参加している活動が多い。もっと楽しみながらできるものが増えるとうれしい。富士市は広いので、鉄道 3 線の駅の最寄りや富士本町商店街の空き店舗を借り、ミニまちセンとして活動拠点を置くなどしてほしい。バスも少なく、交通手段のない高齢者や学生、市外の人たちが参加しやすい会場があると嬉しい。  
(女性 60 代)
- 高齢化に伴い、二人暮らしの生活者が増えている。自宅の整備などができなくなっている。地域のボランティア団体等を活用して美化推進を図る必要があると思う。市民が気軽に相談できる仕組みがあればと思う。  
(男性 70 代)
- いつも市民大学を利用させてもらい、興味ある講師陣にふれ、大変有意義な時間を過ごしている。いつも夜の時間帯だが、それとは別に昼間・午後の昼下がりに、このようなイベントがあると、高齢者にとっては見聞を深める意味においても大変ありがたいことだ。いろいろな情報を得て、またいろいろな人の考え方を知ることとても楽しい。そんなイベントが増えることを望む。  
(女性 70 代)
- 高齢者を対象とした取組。例えば老後資金関連などのセミナーなど。  
(女性 70 代)

## 6 子ども・若者の活動への参画について 10 件

- 高齢者が活動しているイメージがある。若い手が必要な場面もあるので、夏休みなどの長期休みを利用して、学生も参加してほしい。募集していることを SNS で公開してほしい。  
(その他 20 代)
- 子どもたちに、社会性や助け合いの気持ちを持ってほしいと思う。親からでは子どもが素直に受け入れにくいところがある反面、一番の見本であると思うが、日々の生活に手いっぱいなため思うようにいかない。学校が子どもにとっての社会の場なので、学校外での活動にもっと背中を押してくれるとよいと思う。  
(女性 30 代)

- 人と関わることの大切さを小さい頃から教育し、障害の有無関係なく、互いを認めて自然とサポートできる心づくりが大切かと思う。差のある人を分けるのではなく、一緒に育つ環境の中で、双方の関わり方をつくり上げていけるものだと思う。そういった場面でも、市民一人一人が、小さくても何かができるのではないかと思う。(女性 40代)
- 社会の一員として役立っていると感じられるようなボランティア活動を、幼少の頃から参加できるような仕組みがあったらよいと思う。(女性 50代)
- 私は以前、生涯学習まちづくり推進に少し携わっていた。疑問に思う点があり、携わらなくなった。情報化社会が進む中、何かを進めるためにはやはり人と人の大切さだと思っている。ボランティアは素晴らしい行動だと思うが、特に力を入れたいと思うことには、仕事とした上で進めていくほうがよいと考えている。かつて製紙のまちと言われた富士市だが、富士山や駿河湾をはじめ、素晴らしい場所、素晴らしい人を生かしたまちづくりを、若い力を借りながら進めたらどうかと思う。子どもの頃からそんな活動が根づくような方策があればよい。(女性 50代)
- 私の周りは高齢者が率先して活動を行っている気がするので、若い人にも頑張ってもらいたい。(女性 50代)
- 若い人たちに進んでボランティア活動に参加してもらいたい。(男性 60代)
- 今まで活動していた方も高齢になったため、これからは若い人の協力が大切かと考えている。(男性 70代)
- 若い人が明るく、活気とフレッシュさで、活動がより盛んになればよいと思う。(女性 70代)
- 若い人たちに頑張ってもらいたいと思う。(女性 70代)

## 7 市民活動における人材育成について 3件

- 若い人の人材育成が必要だと思う。(女性 60代)
- 若い人にボランティアの大切さを教え、指導者を育成し、活動している人同士の交流や情報交換を促進し、誰もが参加しやすい場をつくる。(男性 70代)
- リーダーの育成が必要。(男性 70代)

## 8 市民活動に関する情報提供について 19件

- 市民活動として様々なイベントが行われているのは知っているが、全ての市民が知っているわけではなく、そもそもイベントの内容について様々な人が興味を持てるものなのかよく分からないので、広報をもっと活発に行っていく必要があると考える。(男性 20代)
- 市民活動をされている人がたくさんいると思うが、ふだん生活している中であまり意識していなかった。もっとこういう活動があるというのが分かるツールがあればよいと感じた。仕事の休みがもっと取れれば、こういった活動にも参加したいと思う。見えないところで、こういった活動をしている人に感謝したい。(女性 20代)
- 働いている人もそうでない人も、もっと気軽に開催情報を得られて、参加しやすくなればよいと思う。(女性 30代)

- 市民活動の情報について広く周知し、参加者を増やし、よい富士市にするべき。知らなければ参加しない。情報が多ければ、関心のなかった人も参加する可能性がある。（男性 40 代）
- 市民活動も大切だと思うが、今は仕事・子育て・家事と時間に余裕がなく、休日も子ども中心に予定があり、気持ちにも余裕がない状態。そのためか、進んで参加したいという気持ちになれない。自分が参加しない分、ほかの人がいろいろな活動をしているのには感謝している。しかし、どんな活動があるのか知らない人が多いと思う。情報の提供の場が少ないように感じた。（女性 40 代）
- 活動そのものの情報や、活動実施の情報を目にする機会が少なく、〇〇の活動と示されても難しく捉えてしまって、踏み込もうと思う気持ちが湧かない。子どもから大人まで、どんな活動なのかが分かりやすく、興味の持てるものをアピールしてほしい。（女性 40 代）
- とつつきにくいので、簡単なことだと分かりやすく教える必要性を感じる。（男性 50 代）
- 富士市民は宣伝が苦手なので、外部識者などからアピール方法を聞くべきと思う。（男性 50 代）
- SNS での問合せばかりでは、やってない人たちには、活動を知ることはできない。（女性 50 代）
- 人の役に立つことはよいと思うが、情報が少な過ぎて行動に移すことができない。（女性 50 代）
- 市民活動に必要な知識をどこから入手できるか、入手したとしても自分自身が理解できるのか不安がある。（男性 60 代）
- 認知されている活動が少ない。（男性 60 代）
- 市民活動とは、具体的にどのようなものがあるかを知らない人も少なくないのではないかと思います。実際にどのような活動をしているのかも含めて、それらを分かりやすくまとめた情報を提供していただけたら、活動に参加してみようかなという人を増やすことができるのでは。（女性 60 代）
- 誰でも参加しやすいように広報活動を広めてほしい。参加するための窓口や活動内容を分かりやすく表してほしい。（女性 60 代）
- 活動に対する情報の発信が少な過ぎるので、もっと情報を分かりやすく発信してほしい。短時間の参加でも可能な活動はあるのだろうか。（女性 60 代）
- 今活動している人の宣伝が必要だと思う。（男性 70 代）
- 本人の意思が最重要と思われる。活動参加者のよい経験・実務談等、生の声を提供する機会を増やせればと思う。（男性 70 代）
- 市民活動について、周知することが大切だと思う。（女性 70 代）
- 活動を積極的にアナウンスして周知することが大切。現役世代は参加しづらいだろうが、高齢者中心ではだめなので、次の世代に送っていく工夫が必要。無関心を減らしていかななくてはならない。（女性 70 代）

## 9 市民活動への理解について 29 件

- 市民活動というものがよく分からない。あまり身近に感じない。(女性 20 代)
- 各々が「したい」と自発的に考え、行えるのがベスト。私は富士まつりなど、富士市でしか味わえないものを見て、体験して、楽しく感じられたので継続して参加している。あのような「総おどり」を筆頭に、市民一人一人が富士のまちでよい、過ごしやすくと感じられれば一番だと思う。(男性 30 代)
- 市民活動という言葉自体よく分からない。町内活動という点であれば、市税を払っている上に町内でも会費がかかり、町内で管理するという方針自体、時代錯誤。高齢者も多く、長く住んでいる人の力が強過ぎる。市民活動と言ってしまえば聞こえはよいが、内容が不透明。子どもより高齢者の活動ではなく、働いている世代向けに富士市で住みやすい環境整備を求める。(男性 30 代)
- 市民活動が具体的にどのような活動をしているか想像できず、参加するのにためられる。小さい子どもがいて暇もないので、参加は難しいと思う。(女性 30 代)
- 自分の周りで聞いたことがなく、意識の高い人がやる印象がある。少人数で楽しく、人の役に立てるような活動があるのならば興味は湧くが、無給となると人を集めるのに限界があると思う。SNSなどで紹介してもらえ、お金でなくとも何かがもらえるなど、活性化していくためには、何かしらのメリットが必要な気がする。(女性 30 代)
- 熱心な人が頑張っているだけの印象。若い人が参加しやすい環境は必要だと思う。市民活動という名前が、そもそも堅苦しく感じる。(男性 40 代)
- 思想家な人の活動という印象がある。(男性 40 代)
- 強要するものではないので、自然に名乗り出てくるのが望ましい。(男性 40 代)
- 市民活動はよく分からないし、市役所の人が決めればよいと思う。それに参加したい人が参加すればよいと思う。(男性 40 代)
- 市民活動と言われても、実際、何をしているのかよく分からない。地域の防災活動や清掃活動には参加するが、それ以上は頭に浮かばない。(女性 40 代)
- 市民活動が具体的にどのような活動を指すのか分からないし、現在、どのような活動が行われているのかも知らない。市民活動の説明を読んでもよく分からない。インボデイ測定と、グラウンドゴルフ大会に参加したことがあるので、そのことだろうかと思い回答してみたが、それでよいのかも不明。(女性 40 代)
- 参加する人が限られていて、興味の程度の差が激しい。(女性 40 代)
- 若い人がおらず、自営業や時間にゆとりがある人が参加しているイメージ。(女性 40 代)
- 市民活動が何か、いまいちよく分からない。(女性 40 代)
- 市民活動という言葉自体が古くさく、意味が分かりにくい。身近ではない。自分が経験したことも市民活動に当てはまるのだとこのアンケートで知り、驚いた。(女性 40 代)
- 市民活動とはどんな活動をしているのか、情報が分からなさ過ぎる。(女性 40 代)
- 時間があり、好きな人がやればよいと思う。(男性 50 代)

- 市民活動と位置づけているものに対する関わり合いに欠如している気がする。正直、ピンときていない。(男性 50 代)
- ボランティアの定義がはっきりしていなくて、自主的なのか強制的に集めたほうがよいのか分からない。ボランティアというと災害のときばかり注目されるので、ほかに何があるのか分からない。(女性 50 代)
- 何かの活動に参加すると強制的な雰囲気になり、都合のよいときだけ参加することができない。気軽に参加できる感じがしない。(女性 50 代)
- 富士市に限らず、NPO 法人は税金の悪用が疑われるような団体がときどき問題になっていると思うので、個人的にはあまりよいイメージがない。(女性 50 代)
- 誰が、何を、どのように活動しているのか。興味が持てずよく分からない。(男性 60 代)
- 市民活動に参加したいと思うが、内容がよく分からない。例えば、地域安全活動と言われても、どういうことをするのか分からない。(女性 60 代)
- 市民活動に関心がある人が少ない気がする。(女性 60 代)
- 市民活動についてはこのアンケートで知った。まだ仕事をしているせいか、あまり地域のことや富士市のことまで関心を持っていない。(女性 60 代)
- 市民活動にはどのようなものがあるか、活動を行いたいときはどこに連絡したらよいのか。(男性 70 代)
- 旧富士川町での市民活動の話は、旧富士市が主になっている感じがする。自分が知らないだけかもしれないが、身近に市民活動を感じない。(男性 70 代)
- 一生懸命活動している人と、ほかの人との熱量に差があり過ぎるように思う。(女性 70 代)
- 何をしているのかよく分からない部分がある。班長や、地区の役員の人に感謝が必要だと思う。(女性 70 代)

## 10 市民活動の参加意向について 26 件

- 今は自分の仕事に精いっぱい参加できないが、時間があれば国際協力の活動に参加したい。(女性 20 代)
- 興味がなくはないが、仕事の性分上、時間的にも両立は事実上無理。(男性 30 代)
- 時間とお金に余裕があれば活動に参加するかもしれない。(男性 40 代)
- 仕事等で参加できない。(男性 40 代)
- ボランティアに参加したい気持ちはあるが、仕事をしていると時間が取れない。(女性 40 代)
- 日常生活において、市民活動を行うことも、それを知る機会も少ないが、地域の行事にはなるべく参加している。そのような行事に参加することで少しでもいろいろな情報が得られたらと思っている。今、関心があるのは災害ボランティア。様々な所で自然災害が起きているので、日頃から気に留め、自身でも行えることやボランティア活動に参加したいと思っている。(女性 40 代)

- 市民活動等があつてこそ、災害に備えた暮らしやすい生活が保たれていると思うが、働いていると時間に余裕がないし、休日はプライベートで使いたい。(女性 40代)
- 機会がない、参加しづらい。(女性 40代)
- 製紙会社勤務だが、休みがなく、給料が少ない。とても市民活動はできない。(男性 50代)
- 参加したいが、少し敷居が高い。(女性 50代)
- 現在働いているため、時間のゆとりがなく、市民活動にまで手がつけられない。仕事を辞めてから考えたい。(女性 50代)
- 自分自身の生活、家族について、50代は忙しく、市民活動への余裕がない。子どもには機会があれば参加させたい。(女性 50代)
- 市民活動には共感することは多いが、参加する時間が少なく、地区の行事などが優先される。(男性 60代)
- 現役で働いているので、週末などは家事などで時間に追われている。ボランティアには興味がないわけではないが、なかなか一歩が出せない。自分に何ができるのかも、どのようなことがあるのかも知る由もなく、日時・曜日や継続に関することなどの知識もない。定年になったら協力できるのではないかと思っている。(女性 60代)
- 子どもに関することはできる限りやってきたが、みんなが平等にやるのは難しいと感じていた。地域活動も、役員のかきは夫婦でいろいろ参加したが、土日に仕事もあり、大変なこともあった。元気なときはできる限り参加したいと思っていたが、現在は体の不調もあり、参加する気にはならない。(女性 60代)
- 知らないよりは知っているほうがよいと思うので、いろいろなことに参加したいと思っはいるが、仕事をしているとなかなか難しい。今はインターネットの時代なので、みんながどのような活動をしているかを知って、今後に生かしたいと思う。(女性 60代)
- 地域の市民活動に参加したい気持ちはあるが、夫の介護のため、現状の生活では無理がある。(女性 60代)
- 高齢者なので市民活動に参加できない。住んでいる周りの清掃・草刈りなどを一人で行っている。班の行事で行うことは出席する。(男性 70代)
- 地域活動をもっと行うように心がけなければならぬと思った。(男性 70代)
- 今まで何もしていなかったが、小さなことでもきっかけが難しい。町内の組長は順番だったので2回行った。(男性 70代)
- 年齢的に無理。(男性 70代)
- カレンダーどおりに仕事をしているので、仕事の時間帯になるべく活動を入れてほしくない。(男性 70代)
- 自分に何ができるか考えてみたが、今の状態を保つことで精いっぱい。高齢者の半分近くは同じ考えではないか。また、活動現場までの交通費も考えると辛くなる。(女性 70代)
- 人と人とのつながりが薄れていく昨今の流れだが、人がいなければ楽しくも悲しくもない。これを分かってはいるが、日々の現状を維持していければよいと思ってしまう。体力的に無理。(女性 70代)

- 市民活動したいと思うが、家事・畑仕事・夫の昼食など、また自分の体のため、歩くことも必要で時間がない。(女性 70 代)
- 高齢者になり、活動をしたくてもできない。(女性 70 代)

## 11 町内会活動について 6 件

- 森島区に居住しているが、独身者に対して町内会の活動を強制させるのはどうなのかと思う。正直、仕事に支障が出ているので独身者は除外してほしい。例として、班長や町内会長など。(男性 40 代)
- 私は 4 年ほど前に離婚して、現在は単身で住んでいて、市民活動のことはあまり分からない。ただ、今年は組長という形で町内会に参加している。また、いろいろな人たちと出会うことにより新しい知人ができ、その中でいろいろと学ばせてもらっている。(男性 60 代)
- 町内活動から始めてみたい。(男性 60 代)
- 町内会の役員をやったとき、協力的な人と非協力的な人の差が大きいことを感じた。(男性 70 代)
- 地区によっては、町内会の活動について組長以外は無関心の人が多い。(男性 70 代)
- 町内会の仕事の軽減化をお願いしたい。(女性 70 代)

## 12 アンケートについて 3 件

- 市民活動は、市民が「社会的な責任や役割」を意識して、自発的に継続して取り組む活動と認識しているが、それを市のアンケートで自発的行動を催促するような姿勢に嫌悪感がある。富士市の姿勢はこういうところが否定されているのだとよく感じる。(男性 30 代)
- たくさんの市民活動が記載されているが、具体的に何をしているのか、いまいちピンとこなかった。直近の市民活動において、活動内容と活動の成果を具体的に示していただけると、市民も興味を示すのではないかと思う。また、冒頭に「市民が営利を目的とせず…」とあるが、ボランティアの意識を芽生えさせるのは至難の業ではないだろうか。まずは市が抱えている問題を明示し、市の力だけでは難しいことを、市民の協力を仰ぐ形で実現させることで、富士市がよりよい地域になると信じている。(女性 30 代)
- 各々の活動の具体例を入れると分かりやすい。(男性 70 代)



## 13 その他について 40 件

- 地域活動やボランティア活動に興味がないため、税金が高くなっても構わないので、できるだけ参加しなくても済む社会になるとよいと思う。(男性 20 代)
- 地域活性化に向けて情報を集めていきたいと思った。(女性 20 代)
- 市民活動に参加したい気持ちはあるが、「富士市デジタル田園都市総合戦略」への不満が多いため、市民活動に参加できないでいる。富士市には人に勧めたくなる観光スポットが全くない。スーパーやドラッグストアばかりだ。交通インフラや景観は整っているが、大人や子どもが一日遊んで過ごせる場所、大型商業施設がないのは致命的ではないのか。人口流失して当然の状況。富士市に企業や若者・子育て世代を呼び込む。活気ある魅力ある富士に変えていかないと、市民活動は確実に衰退していく一方。(男性 30 代)
- 富士市内の公園の整備強化や設備の増設を望む。子どもがもっと楽しめる環境をつくってほしい。(男性 30 代)
- 子ども食堂をたくさんつくってほしい。(女性 30 代)
- 未来が見えない。(女性 30 代)
- 市民活動は、自分の生活に余裕が生まれない限り、若い人は活動しにくいと思う。高齢者の圧がすごい。富士市は駅の周りの廃墟感をなくして、もっと観光や外の人が訪れたいくなる雰囲気づくりをしてほしい。栄えるではなく、自然や富士山のイメージを使って歩きたいくなる雰囲気が欲しい。東京から遊びに来た友人には、駅周りがひどいねとよく言われる。ふじのくに田子の浦みなど公園など、さわやかで広々した雰囲気はすてきとも言われる。すばらしい公園も多いが、車がないと動けない不便さがある。田舎ではなく、都会でもない感じが中途半端だと思っている。田舎の雰囲気が欲しくて、田舎に来るのではないかと思う。新富士駅と富士駅が離れている点も、中途半端な駅周りの原因ではないかと思う。(女性 30 代)
- 小学校・中学校の運動会を一緒にやるようになったが、これは別々のほうがよいと思う。地域の運動会は行わなくてもよいと思う。小学生と中学生の差もあるし、お互いゆっくり見られないのがよくないと思う。(男性 40 代)
- 広報ふじは毎月目を通すだけだったが、改めてアンケートが届くと自分の知識不足が露呈していると実感した。私自身ができることは微力かもしれないが、何かしらの形で貢献できる日がくればと思う。(男性 40 代)
- 税金の無駄遣いをせず、しっかり税金を活用して、全市民平等に行ってほしい。(男性 40 代)
- 人口の減少をまず対応しないと、その後の活動できる人も少なくなる上に負担が大きい。(男性 40 代)
- 高い市県民税を徴収しているのだから、もっと市民のためになることをしてもらいたい。雇用促進に力を入れてもらいたい。(女性 40 代)
- 魅力のあるまちづくりは、人や行政に任せず自分たちでやるという意識を市民が持たないと、まちは遠からずなくなる。現役の親たちのレベルが低い。当然子どもたちのレベルも低い。そのため、まちの魅力もなく人口が減っていく。市役所ももっと成果主義を取り入れ、優秀な人材を取らないと存在意義がなくなる。自発的危機意識を持てる人材を育成できる仕組みが必要だと考える。(女性 40 代)

- 富士市本町付近はたばこの吸い殻が多い。ボランティアがやっているのは知っているが、グレーチングまでは見ることが厳しい。 (男性 50 代)
- 富士市は住民としてとても暮らしやすいまちだと思うが、県外より友人が遊びにきた際、案内する場所に悩んでしまう。まちのよさをもっとアピールできたらよいと思うし、子育て世代がどんどん移り住んでくれるまちにしたい。 (男性 50 代)
- 何事においても、公的機関の対応が不十分。また、対応が悪く横柄な態度を取る人が多い。 (男性 50 代)
- 私の家の周りには舗装されていない道があり、その草刈りや凸凹を直すのは私の家の人だけだ。市にお願いしたが舗装する予定はないとのことで何十年も経っている。川も上流からのごみがひどく、東名高速道路の下で詰まってしまうので、春から夏の終わりは毎日取っているが誰も手伝ってくれない。ごみ袋代もお金がかかるため市役所に頼んだところ、10 枚だけだったが、それだけで終わってしまった。沿道掃除などいろいろあるが、それを行うのが大変なため川や道を楽に管理できるようにしてほしい。川など空いている土地に野菜や木を植えている人をどうにかしてほしい。 (女性 50 代)
- 富士市においては、市民活動は無意味であると考え。なぜなら税金の使い方に不満を持ち、発展ではなく衰退の一途をたどるばかりである。何の魅力も感じず、住みにくいばかりだと感じる。隣の市と比べても一目瞭然で、群を抜いて置いてけぼりになっている。そんな市に何を思うか。 (女性 50 代)
- 富士市は人口が多い割に、街が整備されていないような気がする。富士山女子駅伝や富士駅前商店街での軽トラ市など、市を活性化する活動は頑張っていると思うが、富士市でお勧めは何かと言われると、これだというものがない。私も以前は P T A 活動や N P O 活動を頑張っていたが、自分の生活が忙しくなり、今では活動に協力することもなくなってしまった。魅力的な活動があれば参加したいし、協力もしたいと思うが、その魅力的な活動が富士市にあるのかと言われると、今は思いつかないのが現状。 (女性 50 代)
- 富士市には映画館もないし、大きなデパートもない。魅力に欠けていると思う。富士市は大きいのになぜなのか。行きたいと思える場所がない。駅前はいつまでもシャッター街になっているし、活気がない。せめて、誰もが行きたいと思える場所があればよいのに。私としては、コストコ・成城石井・映画館があれば、まちは活性していくと思う。 (女性 50 代)
- 特に思うことはない。参加者同士のトラブル・コミュニケーション不足に関わり合いたくない。 (男性 60 代)
- 市の職員が大勢いるので、市役所や市立病院などは人数ばかり多く、手持ち無沙汰の人々が多いと思う。根本的にそこら辺から変えて行かないと無理。公務員の休暇・賞与・退職金等は、中小企業や零細企業と比べて多いはずなのにどうしてだろうか。 (男性 60 代)
- オーバーツーリズムに対する、外国人のマナーの悪さを対処していただきたい。 (男性 60 代)
- 意見をいろいろ言える環境になるとよい。 (男性 60 代)
- 市民活動以前に、世界遺産富士山周辺の玄関口である新富士駅周辺の整備は必要。ホテル・コンビニ・飲食店が少ない。海外からも来る旅行者もあり、活気のある駅構内・構外の施設整備は急務だと思う。J R 駅と隣接していないのだから、なおさら打開策は必要。 (男性 60 代)

- 仕事を持っていると、なかなかボランティア活動する時間が取れないのが現状である。もっと社会全体が情報化の進展による働き方改革を推進して、週休3日制にする必要がある。それにはまず、市役所が情報化を率先して推進し、日常的な業務はA Iに任せるなどして、職員を週休3日制に移行させるべきである。  
(男性 60代)
- 夜、道路が暗く、歩くのが怖い。  
(女性 60代)
- どこへ行くにも車が欠かせない。歳とともに車の運転ができなくなり、家に籠もってしまう。もう少し自由に働けるような組織をつくってほしい。  
(女性 60代)
- 仕事をしているため、活動に参加することがなかなか難しいと思う。今は活動自体に参加できないと思う。  
(女性 60代)
- 富士市自体に何の魅力があるのかよく分からない。製紙のイメージからか、におうまちだと他県の親戚から言われる。今は違うと思うが、観光などに力を入れるのであれば、イメージを変える必要があるのではと思う。  
(女性 60代)
- この地区は、ここ20年くらいでずっと人数が増えている。しかし、なぜ地区の郵便局などができないのか不思議である。交番も欲しい。郵便局に行くために富士駅まで行かなくてはならないのは不便。地区の人はみんな困っている。  
(男性 70代)
- 今一番期待していることは、富士駅北口開発につきる。市内から人が集まり、今のシャッター街の本町通りを活発にしてほしい。沼津駅前や静岡駅前のような、若者から高齢者まで全員が楽しめる施設を期待している。一つの商業施設の中で子どもから大人まで全員が1日楽しめるような活気あるアイデアを、有能な人たちの意見を出して、とにかく富士駅北口を、他県からもたくさんの人たちが来るような魅力ある駅前へと変えてほしい。日本一、富士山がきれいに見える本町通りを、さらに都会のにぎわいを加えて、たくさんの人たちに来てほしい。  
(男性 70代)
- 私の率直な意見としては、富士市というまちは「何なんだ」である。全く魅力を感じないまちで、これといった特色がない。しかし、エゴイズムな市民が多い。  
(男性 70代)
- 居住して35年、富士球場を中心として文化的な構成を期待していた。しかし、球場と道路の北側には企業などの施設があり、丘全体の景観形成を望んでいたが、富士山の山麓の前景にそぐわず市民の利用度が低い水泳場、そして今度はバスケットコート。囲む形で遊歩道を期待したが、ただ建物を造っただけ。なぜ小さな駐車場が分散しているのか。水泳場の適温に管理された水を使ってせせらぎは造れないか。遊歩道より彫刻物で、市民が憩える地域にできないのか。春は桜、秋は紅葉の中で散歩したい。70〜73歳頃に自宅から球場にいたる歩道の雑草取りを頑張ったが、誰も手伝わず、疲れて挫折。せせらぎ、木漏れ日の下で年中ゆっくりと散歩したい。  
(男性 70代)
- 高齢のためよく分からない。  
(男性 70代)
- 市内の交通行政が浜松や静岡市に比べ著しく見劣りしているように思える。富士山という、他地域に比べすばらしい財産を持っているが、道路は行き詰まりの道が多く、鉄道の駅はバラバラでつながりがなく、車がないと動きづらい。結果、朝夕の渋滞になり不便。医療や市民活動に使う箱物に不満はないが、田舎くさい交通施設には魅力がない。  
(男性 70代)
- ごみ出しにいくと、新品・きれいな物・悪くない物などが出ているが、よい物はきれいにして、欲しい人へボランティアで回してあげたい。近所で猫を飼っているが、近所に迷惑のかからない条例を決めてほしい。犬のように縛って飼う。特にフン害、深夜屋根を歩き回る、繁殖時の鳴き声がひどい。  
(男性 70代)
- どこでどのような情報を得るか、自身でアンテナを持たないと入るものも入ってこない。外出してみるのが大切だと思う。  
(女性 70代)
- 今すぐには考えが見つからない。  
(女性 70代)

## 問 16 「消費生活」についてのご意見

### 1 消費者被害・トラブルについて 22 件

- 毎日生活する中で物を買うことは必須なので、こういったサービスを知らずに過ごしている人がたくさんいると思う。トラブルがあっても解決方法が分からず、そのままになってしまっている人たちに知ってほしい。  
(女性 20 代)
- 自分がサービス業に身を置いていることもあるが、消費者が被害者で商品やサービス側が加害者という形だけではなく、その逆もあることを知ってほしい。人間、様々な人がいるから仕方ないと思うが。  
(女性 30 代)
- フリーダイヤルからの着信が怖い。インターネット社会にまだ対応しきれていない部分もある。  
(男性 40 代)
- 固定電話は詐欺が多いのでやめようかと思っている。物価高・円安で生活が苦しいので、市税を安くする、水道代を安くするなど、富士市でできることをやってほしい。  
(男性 40 代)
- トラブルにあったことはないが、実際にトラブルにあったら不安でどうしたら分からなくなり、パニックになってしまう。  
(女性 40 代)
- 詐欺の認定基準が甘過ぎる。  
(男性 50 代)
- 今思うと、ある住宅メーカーはひどい。相談窓口相談していたらと思うが、そのときは脅されて余裕がなかった。思い出すと腹立たしい。  
(男性 50 代)
- 悪徳商法・詐欺は日々巧妙に進化しているので、どうやって守りを固めるか難しくなっている。  
(男性 50 代)
- 商品を購入するにも、保険等に加入するにも、長い契約書を渡されて、読んだらサインしてくださいと言われるが、理解してサインしている人はほとんどいないと思う。  
(女性 50 代)
- Instagramでワコールのマークが入った補正下着を購入したところ、その下着は外国から送られてきて、ワコールのマークはどこにもなかった。同じくミズノでも購入してしまった。後に、YouTubeでメーカーから注意喚起されていた。ロゴで信用してしまった。袋がお粗末だったので受け取り拒否したかったが、自分で頼んだため仕方ないと思った。  
(女性 50 代)
- 約 30 年前、訪問販売やまちでのキャッチセールス、電話での勧誘などで怖い思いや悔しい泣き寝入りをした。そういう思いをする人が少しでも減ってほしいと思う。お金は気持ちよく支払いたいし、お金を払ってくれる人に気持ちよく買い物ができるお店が増えていったらよい。  
(女性 50 代)
- 今の時代、いろいろな悪徳商法があるが、それをする人の心情はどのようなものであるか、ほかへ考えを変えることができないものなのか、それが不思議であると思う。  
(男性 60 代)
- 振り込み詐欺の電話を受けた際の経験から、身近な市役所が頼りになった。「還付金が出るので 15 時まで ATM で手続きしてほしい」と案内を受けたことがある。富士警察に電話で通報したが、長々状況を聞くばかりで親身な対応ではなかった。市役所に電話したら、一斉放送で流してくれた。  
(男性 60 代)
- 売り込み等、不審な電話が多過ぎる。  
(男性 70 代)

- 車の購入契約後、市民相談窓口で取り合っていただいたら、対象業者に対しいくつもの苦情相談が寄せられていたことがあり、調査が全くなされていないまま営業を続けさせていた。行政指導の積極性が求められる。  
(男性 70代)
- 地球を大切に思っている人たちは、ごみの分別などに注意して暮らしている。親が子に教えている家庭も多いと思う。生活が大変になれば、人をだまして金を手に入れることを考える人が増えることは昔からあるのだろう。トラブルに巻き込まれない信条を持って暮らせるとよいのだが。  
(女性 70代)
- 幸いにも、今までに消費生活におけるトラブルにあったことはない。これからも注意しようと思う。  
(女性 70代)
- 毎日のように新聞で掲載される、高齢者が現金をだまし取られてしまう特殊詐欺事件。家に来る人に簡単に現金を渡してしまうという。私も自分だったらと思うと怖い。実際、電話のプラスナンバーで脅されたことがある。無視したが本当に怖い。  
(女性 70代)
- 市役所3階の相談室前にたくさんのパンフレットがあるので、年1~2回もらってきて、高齢者、特に一人暮らしの家に届けている。富士市はだまされる人が結構いるので、電話に出て怪しかったら話さず切ってほしいと言っている。「くらしの豆知識」は読んでおくといよい。  
(女性 70代)
- 最近、不用品に関する電話が多過ぎると思う。  
(女性 70代)
- カード決済が勧められて一人の持つ枚数も多くなり、自分で管理していると感じる注意が薄くなっている。億単位でだまされる高齢者などは気の毒だと思うが、一方で、管理力のない人にカードを持たせる、それを勧める世相にも問題があると思う。自身も困っている一人である。  
(女性 70代)
- だまされるほうが悪いので、だまされたときはあきらめる。  
(女性 70代)

## 2 インターネットの消費者トラブルについて 6件

- インターネット社会なので、インターネット上で買ってみたら毎月自動購入となり、解約するにはお金がかかるということがよくある。広告に出ている企業の取り締まりなどを国単位で対策してほしい。何でも値上がりで困る。  
(女性 30代)
- 今はインターネットで気軽に商品が購入できるが、その分トラブルも多いと感じている。写真と品物が微妙に違ったり、作りが粗かったりなど、お店で手に取って見るのとは全然違う。分かっているけどやはり便利のため、どうしても利用してしまっている。トラブルに巻き込まれたときの素早い対処方法を知りたいと思っている。  
(女性 40代)
- インターネットが広がり、セキュリティも含めて対策は重要。  
(男性 60代)
- 近年、インターネットで商品を購入することができ、友人がそれに伴う詐欺の被害にあった。おかしいと思ったので消費者センターへ電話相談したところ、すぐに警察に行ってくれと言われて行ったらしい。これからますます増加してくると思うが、それを防ぐ手立てはないのだろうか。  
(女性 60代)
- 今、インターネット上での買い物トラブルへの対処法が一番知りたい。  
(男性 70代)
- インターネット情報に接する機会が増えているので、偽情報拡散の防止・セキュリティ対策等のさらなる強化が必要と思われる。  
(男性 70代)

### 3 高齢者の消費者トラブルについて 7 件

- 高齢者が増えているし、親世代の認知症なども心配。親はすぐに「面倒くさい」などと言っている  
ので、モチベーションが低く、フットワークも重いような高齢者でも、大事な情報が得られるよう  
な環境づくりをしてほしい。 (女性 30 代)
- 特に高齢者は簡単にだまされてしまうので、電話をナンバーディスプレイにして、非通知は出なく  
てよいことを話したところ、変な電話が減ったと話していた。高齢者の電話対策をすることでトラ  
ブルを減らせるのではと思う。 (男性 50 代)
- 高齢者だと電話での詐欺が多いと思うので、固定電話があって高齢者がいる家庭は、悪戯撃退つき  
の電話器を 1 台配布したり、買えない人が多いと思うので市が費用を負担したりしていただきたい。  
注意喚起だけでは難しいと思う。 (女性 50 代)
- 最近、詐欺の手口が巧妙化している。高齢者への呼びかけ、対策をさらに強化してほしい。  
(男性 60 代)
- 高齢化社会になり、トラブルは多発すると思う。安心・安全に消費するにはどうしたらよいか。  
(女性 60 代)
- これから生活していく中で、特に高齢者への消費者被害トラブル防止対策を強く望む。  
(男性 70 代)
- 基本は自分が注意してトラブルに巻き込まれないようにすることだと思う。それでも高齢者の人  
たちは「自分は大丈夫」と言ってだまされる人が多いと聞いている。おかしいと少しでも感じたら  
友達なり誰かに相談することだと思う。 (男性 70 代)

### 4 消費者被害・トラブルの防止について 27 件

- 悪質商法に引っかからないよう知識を身につけようと思った。 (男性 20 代)
- トラブルがあった際、あった側も悪いという考えが少なくない気がする。注意する必要があるが、  
「注意しなかったからいけない」「トラブルが起きたのは仕方ない、どうにもならない」とは  
ならないよう、対策をしてほしい。 (女性 30 代)
- 生活するための最低限の消費以外は、何もしないことが予防になると思う。 (男性 40 代)
- 詐欺被害防止法整備。 (男性 40 代)
- 悪質商法に遭わないように家族で話し合う。 (男性 40 代)
- まずは悪質な元を排除する取組を行っていただきたい。悪質業者に対して重い罪を与える条例を  
つくっていただきたい。だまされやすい若者、高齢者に、条例を踏まえ広く注意喚起していただ  
きたい。 (男性 40 代)
- 相談できる場はたくさん欲しいが、相談を受ける人は大変。自分で解決できる力もつけられたらよい。  
(男性 40 代)

- 富士市内には、一般的に名の知れている企業の中にも悪徳商法を行っているところがある。私は消費生活センターに相談し、別の窓口を紹介していただくなどの案内を受けることができたが、その後実際に戦うのは個人。体力・精神力が必要なことであり、これを個々で行うことは非常にハードルが高いこと。実際、「面倒くさい」「仕方がない」「運が悪かった」といって諦めてお金を払ったり、お金が戻ってこなかったりした消費者はとても多いのだろうと、私自身の経験から感じた。特に少額の案件に関しては、労力に対して得られる金額が少なく、泣き寝入りを強いられることが多いのだろう。このような「よくあること」を防ぐために地域ができることは、やはり上記の自助活動による見守りや、話しやすい環境づくりではないだろうか。  
(女性 40代)
- 被害に遭わないための意識向上が必要。行政による取り締まりの強化を求める。  
(男性 50代)
- 核家族化・共働き・高齢化による一人暮らしなど、現代社会の状況下において家族や周囲と会話をする時間が少なくなり、今後は、トラブルと気づかなかったり、対処が遅れたりすることが増えていくと考えられる。  
(男性 50代)
- 商品を買うときには、無駄なものを受け取らない、関わらないといった見極めが重要だと思った。  
(男性 50代)
- ふとんや健康食品など、誰でも被害者になってしまう世の中なので、防ぐのは自分自身しかない。  
(女性 50代)
- 自分自身も気をつけないといけない。  
(女性 50代)
- 無料の弁護士の配置を増やす。  
(女性 50代)
- 最近、いろいろな物品販売や不用品買取りの電話勧誘が多い。このような勧誘に関して、行政でも何か対応していただきたい。  
(男性 60代)
- 様々な情報を自分なりに注意して生活していく。  
(男性 60代)
- これまでは、まずは業者とのやり取りで解決してきたが、間に入って解決のサポートをしてくれる組織があったら積極的に利用したいと思う。  
(男性 60代)
- 詐欺に遭わないよう、自分でも勉強していきたいと思う。  
(女性 60代)
- 最近、固定電話で音声録音が頻繁に使われているが、詐欺トラブル等を防ぐ効果があるのでは思っている。  
(女性 60代)
- トラブルに遭わないようにする。  
(女性 60代)
- 消費者トラブルに遭わないよう、気をつけるしかないと思う。  
(女性 60代)
- 悪質商法にだまされないように、日頃から情報収集をしておかなければならないと思っている。  
(男性 70代)
- とにかく、今の時代は詐欺だらけの世の中。人間不信を体験して信じられない世の中を生きている。人間は嘘をつく。90%は嘘つきな人間である。絶対に身を守るためには、他人の言うことは信じない。自分自身・家族を守るために、この世を変えることはできない。人にだまされないよう、十分に覚悟を持って生きていく。  
(男性 70代)
- うまい話には乗らない。  
(男性 70代)
- トラブルに巻き込まれないよう、消費者側の私たちもそれなりに、インターネットなどで調べるなどの勉強をし、知識を身につけていかなければならないと思う。  
(男性 70代)

- 今の時代、商品やサービスがたくさんあり過ぎて困ることもある。売買契約などをよく理解し、適切なものを選ぶ習慣を身につけるように努力している。(女性 70 代)
- 自分自身、高齢者なので広告などにだまされない知識と情報をしっかりと持って日々の生活をしていきたい。(女性 70 代)

## 5 消費者啓発・教育について 13 件

- 小学校のうちから、消費生活における注意点などを教育していかなければならないと考える。特に、インターネットショッピングに関する教育を充実させてほしい。(女性 20 代)
- 今と昔で手口が変わってきているので、違いを学びたい。(その他 20 代)
- 子どもなど、誰にでも分かりやすく、なるべく難しい表現は避けてアニメなどで説明するとよいと思った。(女性 30 代)
- 年々悪質な手口の詐欺も増えているように思われるので、より一層の啓発が必要かもしれない。(女性 40 代)
- 市ウェブサイトで、ある程度の情報を頂いている。消費者被害は年々緻密で悪質なものも出てきて、私自身も年齢を考えると、インターネット社会に追いつかず困る場面も多いので、啓発を充実してほしいと思う。ではどうすればよいのかということになると、自身を守ることを常に心がけ、気軽に参加できるイベントなどがあれば参加したいと思う。講座・イベントはどの年代に対応するにしても、分かりやすく参加しやすいものでないと無駄になってしまいそうだ。(女性 50 代)
- 高齢者などのトラブルについて啓発活動を進めてほしい。(男性 60 代)
- 消費者への巧妙な手口により問題が多くあり、その手口についていけない面もあるので、今以上に、定期的に広報などで注意喚起していただけたらと思う。(男性 60 代)
- 啓発活動をして、消費者トラブルにあっている本人がトラブルに遭っていることを自覚していないので、だまされないようにすることも必要だが、だまされた後、周りの者はどう対処したらよいかの情報発信が大事。(男性 60 代)
- フードロスや地産地消、自分にできるところから取り組んでいる。特に若い世代には自分事として考えてもらいたいと思う。インターネットトラブルに巻き込まれない、自分が加担しないということにつながる、若者への啓発活動は大切だと思う。(女性 60 代)
- テレビなどで消費者被害をよく目にする。高齢者のみの世帯が増えていることも大きな要因になっていると思うが、若者にもトラブル防止の教育が必要だと思う。(女性 60 代)
- 悪質商法など、小学校の道徳の授業で小さいときからいろいろな手口があることを教えて、トラブルの対処方法も基礎知識として教えていけば、トラブルがなくなると思う。(女性 60 代)
- コロナ禍前の敬老会で、消費者センターの出張講座を利用させてもらった。パンフレットなどよりも、寸劇を見たことが今でもしっかり頭に残っている。伝えたいことは、立派なパンフレットや電子情報より、直接の伝え方かと思う。(女性 60 代)
- 高齢者の集まりやグループ・趣味の会などで、消費や社会生活の仕組みなどを教えてほしい。高齢者にはなかなか情報が入ってこないし理解力に乏しいので、繰り返し話をしてほしい。(女性 70 代)



## 6 SDGs・エシカル消費について 11件

- 法律等の情報はインターネットで調べれば情報はたくさん出てくると思うので、富士市の住民の具体的な対処法を教えていただけると助かる。また、SDGsという言葉が出てきたことについて、私は、SDGsは子どもの教育には多少よい影響も与える可能性があると思うが、行政がしきりに推進していこうというのには反対。市民生活の実態を理解できていない施策の一つだと思う。SDGsという言葉の聞こえはよいが、SDGsの取組を富士市がしてもしなくても、具体的に市民の生活が変わることはほとんどないと思う。多くの自治体がSDGsに対する取組を行っていると思うが、私には、いずれもかけた金額に対するリターンが見合っているようには到底思えない。富士市には、本当に必要な施策をしっかりと選び運営していただきたいと切に願っている。

(男性 20代)
- SDGsは学校でも習ったり、本を読んで、子どもが自ら知識を得て、それを大人やSDGsを知らない子に教えているのがよかった。エシカル消費も、もっと意識していけるとよい。

(女性 40代)
- 無駄な物は買わないようにしている。

(女性 60代)
- SDGsはかなり実行している。悪質業者や詐欺などを報道で発信しているのを見て、被害に遭わないように気をつけたい。

(男性 70代)
- マイバッグやSDGsはとても大事なことだと思う。これからも実行したい。

(男性 70代)
- 家庭菜園をやっているが、キュウリ・梨・野菜における規格外の商品でも高く売ってほしい。それがSDGsではないだろうか。

(男性 70代)
- 毎日の生活は食品が主になるが、季節が夏になると、量を少なめにするもの・多めにするものと分けて保存し、早めに使い切ってごみにしないようにしている。トラブルは困るため、商品が必要なものなのかどうなのかは少し考えて決めている。

(女性 70代)
- エシカル消費は大切なことだと思う。自分たちでできることは行っているが、ごみを農業用水などに捨ててあるのを見ると、何も考えない人がいると感じる。日本はまだまだ輸入に頼っているので少し考え方を変えたほうがよいと思う。

(女性 70代)
- 野菜などは知り合いの人からいただくので、料理に合わせて使い分け、無駄もなく新しい物を食べられる。冷凍食品の上手な調理法などを見聞きするが、やはり採り立ての野菜とは歯応え・味などが全然違う。頂き物の食べ物は、すぐ料理をするのをモットーにしている。

(女性 70代)
- 欲しい物は買わない、必要な物を買う。少しよい物より、とてもよい物を買う。あれもこれもより、必要な物だけにする。

(女性 70代)
- 廃棄する物をできるだけ少なくしたいと思う。

(女性 70代)

## 7 消費行動について 17 件

- 物価高に対して、以前のような消費生活をすることは厳しい。 (女性 20 代)
- 添加物が入っていない商品などがスーパーにたくさんあったら、親子は安心して買い物をしたり、子どもに食べさせたりできると思う。 (女性 20 代)
- 食べ物を粗末にしないなど、様々なことについて学んでいこうと思う。 (女性 20 代)
- トラブルにあったことはないが、最近、本屋や商店街のお店がどんどん閉店してしまっており残念である。お店がない場所が目立つ。インターネットの販売は便利であるが、それに負けず、実店舗も頑張ってもらいたいと願っている。 (男性 30 代)
- より多くの人が、値段以上に消費対象を選択する理由を持てる社会になっていくとよいと思う。 (女性 30 代)
- 物価が高くて生活していくのが大変。 (男性 40 代)
- スーパーなどの買い物は楽しい。 (男性 40 代)
- 体験型消費にもっと時間を使えるまちにしていきたい。大人や親がスマートフォンゲームに興じているようでは日本に未来はない。子どもが無償で体験できる音楽コンサートやキャンプイベント、スポーツクラブなど。行政は将来を担う子どもたちの時間をどこで消費させるかを設計することにより、消費生活をもっと、人にもまちにも充実させることができると考える。 (女性 40 代)
- 物価が上昇ばかりして、賃金は平行線で経済的にも将来にも不安ばかり募る。富士市は時給も低いので、深刻な問題。もっと暮らしやすくなるように賃金も増やしてもらいたい。 (女性 50 代)
- なるべく地産の物を買うようにしている。ウォーターサーバーを市内の会社で 15 年以上利用していたが、タンクからの水漏れで床に大きなシミができた。取引会社に連絡したところ、写真まで撮ったものの 3 か月経っても対応がなく、誠意がなかったということがあった。結局、取引は止めた。 (女性 60 代)
- チラシやインターネットを含め広告が多く、よいものの選別が難しいと感じる。 (女性 60 代)
- 地産地消を進める。輸送費を抑えて価格を安く、確実に全てを消費させていくような買い物をしていきたい。規格外の野菜・果物等を上手に流通させていく方法を考えていく。家庭で食べる物は、形に拘ることは少なくしていきたい。高齢者の免許証の返却等も少しずつ増え、買い物難民が多くなるだろうか。デマンドタクシー・公共交通機関の充実・宅配食の安価での提供・市としての食生活への補助など、直面することが多いのではないだろうか。 (男性 70 代)
- 今まで特別なことはなかったが、これからの注意事項になり参考になった。 (男性 70 代)
- 今は外出をしなくても買い物ができる。インターネットなどですぐ手に入る。今はいろいろなものが数多くあふれている。必要以上に買っていて、必要なものだけしか買わない人は少ないのではないだろうか。よいこと・悪いこと、必要なもの・いらないものが分からなくなっているのではないか。 (女性 70 代)
- なるべく地元の物を手ごろな値段で買えるようになればと思う。 (女性 70 代)
- 家も古くなってリフォームをするにも、物価は高く年金は安いし、相談するには市役所に行けばよいのだろうかと心配になる。 (女性 70 代)

- 市の経営するファーマーズマーケットが欲しい。田子の浦で扱っている魚、または農産物で時期のとうもろこしなど。市が経営している場所が分かれば、みんな行くと思われる。農産物を販売していると広報から連絡がきても、場所が分からずじまいでとても残念。（女性 70 代）

## 8 消費生活センターについて 8 件

- もし契約トラブルがあった場合、消費生活センターに相談するということをそもそも考えていなかったの、消費生活センターの存在をさらに広めるポスターや広報活動を行ったほうがよいと思った。（女性 20 代）
- 消費生活センターというものが市役所内にあること自体、初めて知った。（女性 30 代）
- 20 代前半のとき、車を売る際にお店の人に査定をしていただいた。査定が終わり話をしていると、査定したのだから契約をしてもらわないと困ると言われて揉めた。しかし自分も 1 人だと不安で友人と来ていたため、友人も待たせてしまっていることもあり、その際は契約書を記入してしまった。別のお店で車を査定していただいたら、査定も脅しのようなことは一切発言されず、すごく安心でき、最初のお店の金額のほうがかなり高かったの、契約してしまった自分が悪いのは重々承知の上で、最初のお店に契約書をやはりなかったことにしてほしいと連絡をした。するとストーリーカーかのような着信がたくさん入っていてとても怖かった。電話でも長電話され、それが何日か続いた。その際も脅されるようなことを言われ、知識がなかったの、とても不安で、相談先も親か友人しかいなかった。今思えば、消費生活センターという相談できる場所があったのだと気づいた。もっと消費生活センターの存在をアピールして、知識のない若者や狙われやすい高齢者に寄り添ってほしいと思った。結局、その後は担当者よりも上の人と直接お話をし、態度が怖かったことやほかのお店での金額の違いを話した。担当してくださっていた方のことについて謝っただけだが、上の方も結局は私に寄り添わず、ほかのお店と同じ金額なら売ってくれるのかと言われた。こちらとしてはその発言すらも不愉快だった。こんな思いをほかの人にはしてほしくない。プロである消費生活センターという強い味方を知っていれば、と思った。（女性 30 代）
- 私は大丈夫と思っていても言葉巧みにだまされたり、断れなかったりする。困ったときに消費生活センターで相談やアドバイスがもらえるとと思うと心強い。（女性 50 代）
- 友人が以前クレジットカードを不正利用されたとき、消費生活センターから問い合わせてもらったら、相手側の態度が 180 度変わったと聞いたことがある。やはり消費生活センターは必要不可欠だと思うので、さらに充実してほしいと思っている。（女性 50 代）
- 消費生活センターを頼りにしている。（男性 60 代）
- 消費生活センターの存在は、市民にとって心強いものだと思う。（女性 60 代）
- 消費生活センターに相談をしたが、役に立たなかった。（女性 60 代）

## 9 消費者問題に関する相談窓口・方法について 13 件

- 相談窓口等があるのも分かっているが、相談したいときにぱっと思いつかない。敷居が高く感じる。  
(女性 30 代)
- 住宅の購入トラブルはどこに相談すればよいのだろうか。「住まいるダイヤル」というものがあるが、受付が都市部なので、都道府県内で対応してほしい。私の場合、ハウスメーカーの対応が悪く不具合が放置され、示談に 7 年もかかった。  
(男性 40 代)
- みんな、自分は被害に遭わない、トラブルは起きないと思いがちである。これは大丈夫なのかどうかや、何かあった際に気軽に相談できる場所・人がいたら安心できるし、心強いと思う。また、そういうところがあるということを周知していれば、安心して生活ができると思う。  
(女性 40 代)
- 高齢者だけでなく若い人も多いと思うので、被害にあっているかもしれないと思った段階で相談がしやすい窓口があればよいと思う。分かりやすい窓口の設置。  
(女性 40 代)
- 警察は事件にならなければ動いてくれない。相談しても何の解決にもならない。逆に余計に腹が立つし、不信感。  
(女性 40 代)
- 身近なものという感じがしないから、何かがあっても相談しにくい気がする。  
(女性 40 代)
- 見守ってもらえる体制と相談できる環境を充実してほしい。  
(女性 50 代)
- 直面したときに対処できるように、相談できる窓口があるということを常に知らせてほしい。  
(女性 50 代)
- 消費者被害・トラブルの実態・相談窓口などの情報は早急に提供してほしいと思う。  
(女性 50 代)
- 問題の窓口は、なるべく年中無休で夜間も相談窓口が空いていると助かる。  
(女性 60 代)
- 多様化してきていて、高齢者には分からないことが多い。気軽に相談できる所があるとよい。  
(男性 70 代)
- 固定電話に勧誘迷惑電話があるので、留守電にしているから出ないでいるが、どこに電話して対応してもらえるのか。相談窓口の情報を提供してほしい。  
(男性 70 代)
- 相談窓口の充実が大切だと思う。  
(男性 70 代)

## 10 消費者問題や消費生活の情報提供について 29 件

- 同市内に祖父母が住んでいる。高齢のため、インターネットのことが疎い。生活していても分からないことが多く、困るときに連絡が来る。うまい手口で悪質商法等にだまされないように、今後もたくさんの情報を流して、アナログでも対応できるようにしてほしい。  
(男性 20 代)
- トラブルの内容をどう解消したのか、今までによくある事例について個人情報伏せた上で知りたい。相談しやすい環境づくりをしてほしい。  
(男性 30 代)
- トラブル防止のために、ラジオエフでときどき、情報を伝えてほしいと思う。ときどき電話に怪しい電話がくることがあり、トラブルの元となりそうだと感じている。  
(男性 40 代)

- 悪徳商法や詐欺などをラジオで言ってほしい。富士宮市はラジオで言っている。（男性 40代）
- 便利な世の中になった分、トラブルも多く感じる。トラブルの例や対処方法のパンフレット、相談窓口の情報をもっと市民に知らせるべきだと思う。（女性 40代）
- 最近、特に悪徳業者が増えている。マスコミなども注意喚起をしているが、手口が巧妙になったり、弱みにつけ込む手法を取ったりしていきまだに増えており、業者もかなりの搾取である。消費者一人一人が気をつけるほかに方法はないと思うが、市からも啓蒙していくことが必要だと思う。（男性 50代）
- 家は太陽光パネルを設置しているため、蓄電池の営業の人が来たり、電話がかかって来たりする。詐欺かもしれないと思うと業者の人の話を聞く気にもなれない。本当は蓄電池の設置も考えているので、富士市から発信して、安心な会社が分かればうれしい。（女性 50代）
- 情報化が進むとますます怖いと思っている。現在も、なりすましメールや乗っ取られた友人からのLINEの詐欺トークなどがある。どんどん巧妙化するこれからの手口について、メディアを通じて知らせてほしい。また、環境問題についても、何がよくて何がよくないのかをメディア・ツールで知らせていただければと思う。（女性 50代）
- 悪質商法等の手口などはインターネットばかりではなく、ほかの方法でも情報提供してほしい。高齢者にはインターネットができない人もいる。（女性 50代）
- 法律なども全く分からないため、そのままにしてしまうことが多い。日常の中で分かりやすい冊子もほしいと思う。（女性 50代）
- 20年くらい前に、電話での勧誘で「仕事を紹介するので教材を購入してください」という悪徳商法に引っかかってしまった。当時はどこに相談したらよいかも分からなかったし、知人に相談するのも恥ずかしいという気持ちで、夫には相談したが、全額お金を支払うよりほかに解決方法はないと思っていた。今も、詐欺の電話やメールなど、かなり巧妙になっているが、その対処法などを教えていただきたい。また、市の予算で以前行ったような地域振興券やプリペイドカードのようなものを発行してもらえるとうれしい。（女性 50代）
- 身近な問題なので、情報は随時公開してほしい。（男性 60代）
- 詐欺の対策情報を分かりやすくしてほしい。（男性 60代）
- 相談事例をインターネットで見られるようにしてほしい。（男性 60代）
- 大きな問題になるのは、物品購入より投資に関したものではないか。この辺りの情報提供が大事だと思う。（男性 60代）
- 消費生活上のトラブル防止のため、問合せ先の電話番号が分かるステッカーなどの配布があれば冷蔵庫に磁石で貼り付けられ、すぐに対応が図れる。（男性 60代）
- 今後、AIが急速に発達すると言われている。新たなトラブルは早く情報を出してほしい。（男性 60代）
- 広報ふじの放送などでときどき「〇〇をかたる電話が多発しています」などと市内に放送されることはよいことだと思う。抑止力になる気がする。（女性 60代）
- 高齢化に向け、また弱者に対し、不安を煽るような事例をたくさん耳にする。市でも多くの情報を流していただけるとうれしく思う。（女性 60代）
- 消費生活のPR活動。（女性 60代）

- 高齢者だけでなく、SNS などを通じ投資や出会いの詐欺が増加してきた。事例などを紹介していただき、各企業等にお知らせいただけると、情報が共有できることもあると思う。(女性 60 代)
- 年齢的にも、商品やサービスに対する被害にいつ遭遇するか分からないので、消費生活の情報はできる限りたくさん欲しいと思う。(女性 60 代)
- やり方が巧みになっているので、被害・トラブルの実態は知りたいと思う。SDGs の目標も、身近なことから行動することが必要。(女性 60 代)
- 消費生活と言えるか分からないが、スマートフォンに毎日のように詐欺らしきメールが届くので、対処法をもっと分かりやすく提供してほしい。できればそういったメールが入らなくなる方法を知りたい。(女性 60 代)
- 若者などが被害に遭う副業詐欺などが増えているようで心配。正社員でもダブルワークをしてもよい企業も増えてきて、これからはさらに被害に遭う可能性が高まると思う。若者はテレビや広報はなかなか見ないので、若者が見るような場所に危ない情報を公開して、被害を未然に防げたらと思う。(女性 60 代)
- 物価高のため、年金をもらっている高齢者や貧困家庭への情報提供。例えば、田子荘等のお風呂や、夏場冷房の効いた場所など。情報、食料等の配布。(男性 70 代)
- 消費者の問題であっても、新鮮なニュースなどを見ていない高齢者が多いと思う。情報がないので自己防衛ができていない人が多い、よって、特に高齢者への訪問活動等の充実を地域・民生委員の方々が確実に訪問し、新鮮な情報を伝えて理解していただく。自分はそうした。今の民生委員の訪問・対話時間は不十分。(男性 70 代)
- 電話やインターネットによる不正請求の手口をもっと公表してほしい。(男性 70 代)
- 悪質商法等の手口、トラブルの事例をなるべく多く公表してほしい。(女性 70 代)

## 11 消費生活に関する市の取組について 10 件

- 富士市には大型の商業施設が少なく、大きな買い物をする場合は富士宮市や沼津市、静岡市にある施設を使うことが多いため、地域経済の活性化を促進するためにも商業施設の誘致を積極的行ったほうがよいと考える。(男性 20 代)
- 富士市は買い物をするとき、大きなモールが少なく、富士宮市のイオン、沼津市のららぽーとに向かう人が多い。富士市は県内でも 3 番目の人口があるにも関わらず、映画館もなく市外へ行かなければならないので残念。基本車がないと不便な市であり、駅周辺に歩いて買い物できる施設の少なさ。インバウンドの取り込みをもっとやって市内の消費を活性化してほしい。すでに取り組んでいるのかもしれないが、少なくとも私は知らないし伝わっていない。富士山を活用した観光スポットをつくるならば、駅周辺に新たな商店街を造るくらいしてもよいと思う。(男性 40 代)
- 消費生活トラブルを未然防止するための画期的な制度をつくってほしい。(男性 50 代)
- 警視庁のホームページのように、暮らしの豆知識などを載せると登録が増えるのではないかな。(男性 50 代)
- 商店などの自由競争をもっと活発にしてほしい。(男性 60 代)
- もう少し安全な消費生活が送れるようにしてもらいたい。(男性 60 代)

- 消費者に寄り添った取組をしてほしい。(男性 60 代)
- 広見商店街など、地域の商店街が廃れてきていて、車がないと消費生活し難い環境になってきている。安価で利便な公共交通体系の整備を望む。(男性 60 代)
- トラブル対処のスピードが遅い。(男性 70 代)
- 市が取り組んでいたことを知らなかったのでありがたいと思う。(女性 70 代)

## 12 その他について 17 件

- 仕事上、ものづくりをしているので、活動内容について気になった。(男性 30 代)
- 知らないことが多いより、少ないほうがよいと思う。大人になってから、なるほどと思う機会が、テレビよりインターネットになった気がする。しかしすぐ忘れてしまう。定着する学びにつながると思う。(女性 30 代)
- 今は市に頼らずとも、調べられる。(女性 30 代)
- 暴力団をやめたことになっているのに、暴力団時代と同じことをしている人が多過ぎる。(男性 40 代)
- ふだん意識している言葉ではないので、正直に言うと特段思うことはない。(女性 40 代)
- 貧乏なのであまり興味がなく、安い物を食べて、その日暮らしをしている現状。(男性 50 代)
- うそつきは嫌いだ。(男性 50 代)
- あまりにも簡単に様々な物が手に入りやすく、要らない物をごみまたはリサイクルにするが、それが本当にリサイクルされているかなどは疑問に思うところもある。富士市もお店が増えることを推奨して、環境などを後回しにしているのではないかと感じる人が多い。(女性 50 代)
- 安全に暮らしたい。(女性 50 代)
- 質問の趣旨とは違うが、コストコを造ってほしい。(女性 50 代)
- 交通の便がよくない。(男性 60 代)
- プラスチックごみについて。プラスチックは燃えるので、普通ごみと一緒に出してもよいのではないかと思う。ごみ焼却のエネルギーを効率よく発電につなげていけたらと思う。(女性 60 代)
- 年金暮らしで、今の物価高はとても厳しい。市としての対応が見えてこない。(男性 70 代)
- 自分が住んでいる近くにスーパーがなく、車で買い物に行っている。歩いて買い物ができる所が欲しい。旧富士川町にはコンビニ以外がない。(男性 70 代)
- 特に意識したことはない。(男性 70 代)
- 贅沢品以外の価格の安定。(女性 70 代)
- なるべく他人に迷惑かけないように生活しているので、今のところ困ることはない。(女性 70 代)

## 問 23 「生物多様性」についてのご意見

### 1 生物多様性全般について 58 件

- 生物多様性を守ることは人間にとってもメリットのあることのひとつだが、莫大なお金が必要になり、実施に当たっては行政の協力も欠かせないと思う。市としての具体的な取組については分からないが、生物多様性を維持することは極めて大切な取組だと思うので、引き続き保全活動を主導していただけるとすばらしく思う。(男性 20 代)
- 意識せずにいた。もう少し意識して生活していきたい。(男性 20 代)
- 仕事柄、子どもと一緒に生きものにふれる機会が多いが、年々、意識しないと見つけることができなくなっていると感じる。生きものが暮らしやすい環境が続くよう、心がけていきたい。(女性 20 代)
- 自然はよいが、生きものは苦手というところであまり前向きな考え方になれない。見るのはよいが、ふれない。(女性 20 代)
- 自然は好きだが、虫や害虫が嫌い。(女性 20 代)
- もっと社会的に重視されるべきだと思う。(女性 30 代)
- 自然に生きている全ての生きものは命があり大切だが、人間に危害を加えるものもいるため、なかなか自分が挑戦しづらい。子どももまだ小さいため理解しづらく、外で遊んでふとしたときに、生きものには命があることは伝えている。海などでは亀や魚たちのお腹から、人間が捨てたごみが出てきたなど、そういった辛い現状を、テレビや子ども向けアニメなどで把握している。(女性 30 代)
- 人間の勝手ではほかの生物を脅かしてはいけないと思う。(女性 30 代)
- 生物多様性という言葉は初めて聞いた。(男性 40 代)
- 自然はよいと思う。(男性 40 代)
- 川は堰堤（えんてい）や護岸で固めて山には杉を植えて、どこの養殖池から持ってきたか知らない鮎や溪流魚を放した時点で保全が守られているとは思えない。富士山の湧水は誇らしげだが、この周辺の川は自然とは言えない。富士川はこの 15 年くらいで魚が全然なくなった。(男性 40 代)
- そもそも、生きものが大嫌いなので何も思うことはない。(男性 40 代)
- 生物多様性という言葉は、市民にあまり浸透してないように思う。(女性 40 代)
- 生物多様性と聞くと、危険生物と思い、少し引いてしまう印象。動物などがあまり得意ではないため、自然のある場所などに行くことはあるが、動物がいるところにあえて行きたい、ふれ合いたいのと思えない。もう少し、怖がらずに行動できそうなネーミングで公表していただければ、身近に思えるかもしれない。(女性 40 代)
- 日々の生活において、生物多様性はとても重要だと感じる。生態系を壊さないためにも、一人一人の心がけが大切。自分にできる、自然に優しいことを行っていくと思う。(女性 40 代)
- 将来のためにとっても大切なことなので、自分ができるささいなことでも続けていこうと思う。(女性 40 代)



- 生きものに関しては苦手なので、自分にできることを続けていきたい。(女性 40代)
- 自分にできることはやってみようと思う。(女性 40代)
- 植物は好きだが、昆虫・犬・猫などの生きものは苦手で、ふれ合いたいどころか見たくもないので、このジャンルの質問に対して協力できそうな回答ができず申し訳ない。(男性 50代)
- 生物多様性については、難しい問題だと認識している。何をすれば今後につながるのかを考えたい。(男性 50代)
- 自然豊かな富士市において生物多様性を保つには、市民の意識や理解をもっと深める必要があると感じる。(男性 50代)
- 自給自足に憧れる。(男性 50代)
- 「生物多様性ふじ戦略」は令和2年からの11年計画だそうだが、何の計画なのか全く分からない。富士市がきれいになっているとも思えない。子どもたちが公園で大きな声を出して遊ぶと問題にされ、ボール遊びなどもできず、自然とふれ合う対策が増えるばかりで意図が分からない。生物多様性を市民がどの程度知っているのか分からないが、中間の見直しは不確である気がする。(女性 50代)
- 子どもたちのボーイスカウトの活動や町内会の活動を通じて、生物多様性の保全の活動に自分自身がこんなにも関わっていたなんて気づかなかった。アンケートのおかげで気づくことができた。ありがとうございます。(女性 50代)
- 日々の生活の中で、自身で取り組めることは実践していく。何か機会があればイベントなどに参加したいと思う。(女性 50代)
- 活発に活動できないが、自分にできる範囲で身の周りのことを気にかけてみたい。(女性 50代)
- 虫は好きではないが自然は好き。(女性 50代)
- 自然環境・生息・生育などは難しい問題だと思う。自分のできることから無理なく進めたいと思う。(女性 50代)
- 動物や植物などをただ見るのはよいが、それを育てるとなると苦手なので、興味があるかと言われるとあまり興味はない。(女性 50代)
- 生物多様性という言葉を、今後注視していきたい。(男性 60代)
- 自然に任せればよいと思っている。(男性 60代)
- 環境美化的なものには参加するが、生物多様性と大きく言われると、自分に関係のないことと感じてしまう。(男性 60代)
- 生物多様性についてあまり考える機会がなかった。このアンケートにふれて「なるほど」「そうだな」と思うことがあった。大切なことなので、市民への一層の周知をするとよいと思う。(女性 60代)
- 頭では分かっているが、虫が苦手なので森や川などでふれ合うのは無理。現在取り組んでいることは、これからも取り組んでいきたいと思う。(女性 60代)
- 虫が嫌い、山が苦手。(女性 60代)
- 生物多様性の必要性があまり理解されていないのではと思う。(女性 60代)

- 人間とそのほかの生きもの。人間だけでは生きることができないと思っている。人間以外の生きものとのようにしていくか、考えることは多くあると感じている。(女性 60 代)
- 生物多様性について、勉強してみたいと思った。(女性 60 代)
- メダカ・キンギョ・ザリガニを家で飼っているの、それらに関する知識が発見できる。(女性 60 代)
- 家庭菜園をして、キュウリ・トマト・トウモロコシなどを毎日新鮮においしくいただいている。花が咲けば蝶や鳥なども来て環境によいと思うので、家庭菜園作りをアピールしたいと思う。(女性 60 代)
- 生物多様性という言葉は初めて目にした。ただ、テレビなどで外来種の駆除などの番組を見たこともあり、日本古来の生きもの以外は飼わないようにし、食物の花の種は外に出さないようにしている。(女性 60 代)
- 生物多様性はすばらしいことだと思う。若いときだったらいろいろ参加もできたが現在は難しい。町内には自然がなく寂しい、近くにあればと思うが、現代の便利さなどを求めてしまう。駅周辺に緑や池などの自然が多くあったらすてきだと思う。(女性 60 代)
- 問 21・22 は特に心がけてやっていたことではないが、今回のアンケートで生物多様性に関連があると言われて初めて意識した。これからは真剣に考えなくてはいけないことかと思い始めた。(女性 60 代)
- 市民一人一人が、生物多様性の保全に日頃からできることを少しずつ意識して続けていくことが大事だと思う。(女性 60 代)
- 生息地の環境の多様性、温暖化が進むといろいろな生物が失われたり、変化したりしてしまう。問題が大き過ぎて難し過ぎる。自分たちができることを日頃から意識して取り組んでいこうと思う。(女性 60 代)
- 自然は大好きだが、苦手な動物がいるので、屋外では活動できない。(女性 60 代)
- 今から関心を持っていかないと手遅れになって、いつかは自分たちに災いが振りかかってくると思う。(男性 70 代)
- 各々の人が、自然のルールを厳守することを常に心がけて生活すればよいこと。エゴイストな人種が多いからよくならない。(男性 70 代)
- 葛が海外メディアで危険植物として大々的に取り上げられている。目に見える活動を行い、広く報道することにより環境保全が広がっていくと思う。(男性 70 代)
- 自然環境とふれ合いたくても、膝が悪いため無理。(男性 70 代)
- 先日、家の軒下に刺しそうなハチの巣が 3 つできていたので、殺虫剤を買ってきて取り除いた。また、ゴキブリやムカデなどは見つけたら殺すようにしている。(男性 70 代)
- 関わってみたいが分からないところがある。(男性 70 代)
- 生物多様性と一口にいても、いろいろな自然環境が昔より少なくなり、生きものも外来種が多くなってきている。また、生活の中でもできることには気を遣っているつもりである。難しい問題だと思う。(女性 70 代)

- 難しいと思う。野生の動物など、簡単に共生できるものではない。人間も毎日必死で生きている。それ以上に、自然は厳しい中で動物たちも必死に生きている。そっと見守っていることも大事ではないだろうか。(女性 70代)
- 興味はあるが、年齢的に出歩くことが困難になった。(女性 70代)
- 今は、単純な考えでは生物多様性は安全に保持されないと思う。人間だけが環境が激変していることに追いついていないと思うし、変化をよいほうにしようともしていない。経済のことを重く考えて、自国も環境破壊が続いている。(女性 70代)
- 生物多様性は理解しているが、我々の生活に害を及ぼすものについての駆除はやむを得ない。市のほうで何とかできないものか。(女性 70代)
- 自宅は以前と違って住宅地になり、環境的には自然にふれることが難しくなった。少し寂しい気がする。(女性 70代)

## 2 外来種について 24 件

- 外来種の駆除などは、義務教育中に郊外活動で自然にふれながら知識をつけて活動できるようにしたらよいと思った。(男性 20代)
- 外来種でも欲しがると人は多いので、自由にとってよいことにして、取ってもらったらどうか。ペットの譲り合いも犬猫にこだわらず、もっと情報発信できるようにしたら、生きもの的にもよいのでは。車を運転している側としては、熊・猿・鹿はとても怖い。食品ロスは一人が気をつけても、飲食店で山のように捨てているので個人の問題ではない気がするが、全て食べたらこの値段で、残したら少し高い値段という設定をつけたら減るかもしれない。川遊びをしたいが、どこなら安全で駐車場もあるのかをもっと知らせてほしい。(女性 30代)
- 日本古来より守られてきた固有種などが、外来種によって絶滅してしまうのは本当にもったいないし、取り返しがつかないことなので、外来種の駆除の徹底は必要なことだと思う。私は虫が苦手なので、積極的に参加しづらいが。子どもには定期的に自然体験をさせているので、次世代に自然は大切な存在だと伝え、引き継いでいくことはしていきたいと思う。(女性 30代)
- 外来種も大切な命。外来種だからという理由で命を粗末に扱ってはいけない。(男性 40代)
- 生物多様性であるのであれば、外来種も大切にしたいと思う。個人的には、ほかに害を与えないのであれば生かしたいと思う。人によって考え方はそれぞれだが、傲慢な気もする。(男性 40代)
- 外来種も生きものである。同じ命の価値として、行政や学会は、外来種の保護について何か考えがあるのだろうか。(男性 40代)
- 自然が減少していく中、外来種などの増加がこれ以上進まないよう、個々に考え行動していくことが大事だと思う。責任を持ってできないと感じるなら、思い留まることも大事だと思う。(女性 40代)

- 私たち人間が汚したものに関しては、美化・清掃することに対して連帯的に責任を負うべきだと思う。しかし、外来植物駆除作戦はそれとは異なる考え方であり、同じくくりで考えることに対して違和感を覚える。外来動植物によって在来種が絶滅の危機にあることは理解できる。しかし地球全体として考えた場合、在来種と外来種にこだわる必要があるのかは疑問。外来種が増えることで何か不都合があるのだろうか。この考え方は、外国人居住者や帰化者に対する考え方と類似していると感じる。もっと柔軟な考え方ができないのだろうか。たとえば、特定の場所を守るといったように、ドメスティックな範囲を限定すればよいのではないだろうか。(女性 40 代)
- 外来種に実害があるのか見極める必要があると思う。(男性 50 代)
- 外来種を取り除き、昔ながらの富士市の生態系を維持してもらいたい。(男性 50 代)
- 外来種・ブラックバスなどは聞いたことがあるが、釣りもやらないしよく分からない。(女性 50 代)
- 外来種の植物が増えていることに恐ろしさを感じる。外来種について皆知らず、草取りをしないのではないか。白いユリ、オレンジのポピーのような花、ブタクサなどが増えると困ることを広報ふじなどで紹介してほしい。(女性 50 代)
- 自然環境は、生物多様性によって成り立っているので、外来種といっても、必要以上の駆除はどうかと思うが、在来生物が絶滅に追いやられている現在、駆除活動は続けていく必要があると思う。(男性 60 代)
- ブラックバスなどの外来種は、本来は池や沼に放すべきものではない。マナーの悪さがそうさせるのか不思議である。(男性 60 代)
- セイタカアワダチソウが道路の脇に出ている。見かけた人が抜けばよいと思うが、すすき野原が消滅していくことへの対策には微力かもしれない。メダカが減るのはとても残念である。ただ、熊・猪・鹿は増え過ぎて人々の生活を脅かしているので、猟銃で撃つなどして駆除してほしい。借金大国の日本に余裕はない。(女性 60 代)
- 小さい頃、溝釣りでアメリカザリガニをよく捕まえて水槽で飼育していた。やはり、外来種はアジサイも含め、繁殖力がすさまじいと思う。日本古来の生物を大切にしていけないと絶滅してしまうと思う。飼えなくなった魚を川に放流するのは止めてほしい。(女性 60 代)
- 外来種という言葉は聞くが、具体的に知らないことが多く、気がつかないうちに購入しているのではないかと思う。(女性 60 代)
- 故意的な外来種の持ち込みは止めていただきたい。(女性 60 代)
- 水田に、上流から流れて来たジャンボタニシが生息している。外来種などの規制をきちんとしてほしい。(女性 60 代)
- 外来種の駆除は本当に大切なことだと思う。(男性 70 代)
- 外来種が入り込んでくることは自然だと考えたほうがよい。メダカが絶滅することも、自然に任せしかない。(男性 70 代)
- オオキンケイギクが市内で目立つようになってきた。庭で作っている人も見かけるが、退治するよう、広報や指導に努めるべきである。(男性 70 代)
- 外来種が在来種を減少させていることはよく耳にする。飼育者は責任を持って管理し、池などに放さないよう指導ができればありがたいと思う。(男性 70 代)

- 外来植物などを見かけたら抜き取るようにしている。川には魚が泳ぐのが見えるくらいがよい。昔のように。人間本位になり過ぎている。 (女性 70代)

### 3 鳥獣被害・野生動物への不安について 14件

- コウモリの駆除を認めてほしい。野良猫の駆除も認めてほしい。 (男性 40代)
- よく分からないが、野良犬や捨て犬、野良猫を殺処分しないで保護してもらいたい。ずっと保護することは厳しいと思うので、譲渡会を開催する。 (男性 40代)
- 最近、住宅街等に熊や猪などの動物が出没し、人に危害を与えたり、畑を荒らしたりで駆除されているが、人間が動物たちの生活する場を奪ってしまっていることが原因だと思う。こういうニュースを見ると悲しくなる。 (女性 50代)
- 生物多様性と言うのは簡単だが、地域周辺や自宅周辺に狸が出没し困っている。 (男性 60代)
- 家の裏に、野生の猿の親子がいたのは驚いた。宅地開発などで、野生動物の住処が変わってきたか、動物の数が増えているのか。気候の変動により、人もほかの生きものも暮らしづらくなっているのだろうか。今まで聞いたことのない鳥のさえずりを聞くこともあり、雀を見なくなった。 (女性 60代)
- テレビなどで熊の被害情報を見聞きする。私の実家の山林では、数年前に、害虫によりドングリの木が枯れる等の状況になった年があった。自然界で食べる物がなければ、動物が里へ下りてくるのは当然である。北海道では野犬も多数いるらしい。全て人の身勝手な行動の結果であり、動物は被害者である。きちんと考えて改めたいと思う。 (女性 60代)
- 家庭菜園をしているが、虫・鳥との戦い。益虫かどうかの区別があまり分からない。 (女性 60代)
- 吉永の山の猿・カラスの処理。 (男性 70代)
- 茶畑がどんどん宅地化している。富士市でも熊を見たとの情報がある。猿・ハクビシン・カラスの害が出ている。 (男性 70代)
- 妻の実家の農地を耕している。鹿・猪・ハクビシン・そのほかの動物たちはとても元気である。知恵比べで頑張りたい。 (男性 70代)
- 外来種に限らず、異常に増えて有害な生きものは駆除したほうがよいと思う。カラスや海・川の鵜。 (男性 70代)
- 畑で野菜物を作っているが、キュウリ・トマト・マメ・サツマイモ・トウモロコシ等を作っても、鹿・猿に食べられて、ないときが多い。動物も食べる物が足りないだろうと諦めているが、毎年作っている。朝行くと、鹿が16頭くらいいるときがある。冬の物はあまり食べない。 (男性 70代)
- 小学校・中学校・高校などの授業で、自然の中に行くなどをもっと行うとよいと思う。家の近くで鹿を見た。自然は危険を伴うことも多く、植林しても鹿などに芽を食べられてしまう。猿・猪などの畑の被害も多く、共存することの難しさも感じる。キャンプなどは気をつけないと自然破壊につながったりするため難しい。しかし、よい取組だと思う。頑張ってもらいたい。 (女性 70代)

- 近場で熊が出没したり、狸や鹿を近所で見たり、その度に、子どもたちの命はきちんと守られるのだろうか心配になる。熊などは恐れられニュースになるし、私も怖い。山の奥に帰してあげて、決して命を奪わないでほしい。命は人間が支配してよいものではない。地球は人間のためのものではない。野良犬・猫の殺処分も決してあってはならない。悪徳なブリーダーは存在しない市であってほしい。ペット移動販売を受け入れるなんて、このまちにがっかりだ。命は平等。その生きものの立場になり、命のことを深く考えてほしい。猛暑になる時間、日中のアスファルトが高温になる時間帯に犬の散歩をしないように、日々放送を流すなどして周知してほしい。この猛暑の中、はだしで歩くことと一緒に。肉球がやけどする。知らない人もいるので、知らせていただけたらうれしい。  
(女性 70 代)

#### 4 残したい生きものについて 12 件

- 蛍が見られる場所をつくってほしい。  
(女性 30 代)
- タガメは絶滅の恐れがあり、今はなかなか見られない。里地里山の保全はとても大切なもの。元富士常葉大学の近くで大規模な開発をしているが、カブトムシやクワガタの保全は問題ないのだろうか。ぜひこれらのことを踏まえてほしい。  
(男性 40 代)
- 昔から身近にいた生きものが、どんどん数を減らしているように感じる。在来種も外来種も、うまく共存できる環境があればよいと思う。  
(女性 40 代)
- カブトムシはいるが、クワガタは少なくなった。  
(男性 50 代)
- カタツムリ・ミノムシ・トノサマガエルを見なくなった。寂しいと思うが仕方ないとも思う。  
(男性 50 代)
- 高齢化のため、除草剤を使用している人たちが多く、メダカ・蛙・蛇などが減少している。  
(男性 70 代)
- 身近なことだが、水田・小川にメダカが少なくなり、代わりにカダヤシが増えてきている。  
(男性 70 代)
- 地球温暖化で、川の水が少なくなっている。昔ほど、カタツムリ・ミノムシ・蝶などを見なくなった。季節の変わり目があまりはっきりしなくなった。着る物に困る。北極の氷が溶けている。勉強になった。  
(男性 70 代)
- 生物多様性保全活動事業について。私の近くには富士川がある。以前は鮎が遡上し、たくさんいたが、山梨県の砂利問題で鮎が少なくなってしまった。最近はこの問題が取り上げられないのが残念。  
(男性 70 代)
- 浮島沼の区画整理によっていろいろな生物が見られなくなってしまった。  
(男性 70 代)
- 夫が、潤井川の鮎が遡上しないと困っている。  
(女性 70 代)
- 蛍のいる川が欲しい。  
(女性 70 代)

## 5 昔の富士市の自然について 10 件

- 昔は自然が身近にあり、虫や植物とふれ合うことが普通だったが、現在は田畑だった所に家やアパートなどの建物が建ち、かなりのスピードで自然がなくなりつつある。子どもが外遊びをしていても、そのような環境だと自然にふれるのはなかなか難しい。それにより、虫嫌いな子どもが非常に多い。子どもが自然や虫に興味関心を持つためには、親の意識改革の必要性を感じる。

(女性 40 代)
- 以前と比べ緑が少なくなり、山菜などを身近に見る機会が減った。温暖化の影響で水も少なく、池などもあったが、今は水すらない所が多い。川の水量も減った気がする。海などでときどき、釣り糸などに絡まった生きもの・ビニールを飲み込んだ生きものなどの姿を目にすると、環境を見直して整備し、守っていききたいと思う。

(女性 40 代)
- 県外に住んでいた 20 数年前は住宅地の中に田んぼや畑があつて、生きものの存在を身近に感じられるのが富士市の魅力だと思っていたが、今は実家の周りもほとんどマンションや駐車場に変わってしまった。遠出ができない人でも、日常生活の中で生物多様性を感じられるような情報を、広報ふじなどで教えていただけたらと思う。

(女性 50 代)
- 昔とは環境が変化していて、昔ほど自然が身近にない。

(女性 50 代)
- 開発により、周囲の自然が少なくなってきた。自分が子どもの頃は、自然が多く、遊ぶには十分だった。できる範囲で、意識的に保全に努め守っていききたい。

(男性 60 代)
- 子どもの頃は自然が多く、川にも様々な生きものがいた。よくふれ合っていたが、大人になるにつれて自然も減りふれ合う機会も減った。環境面も改善され、自然も戻りつつある場所もあるので、少しでも増やしてふれ合えたらと思う。

(男性 60 代)
- 昭和 40 年代は、田植え前の水田には多くの種類の生きものがいた。最近ではほとんど見ることはなく、蛙もいない。ウシガエルの鳴き声もない。田植え後も、ジャンボタニシはたくさんいる。知り合いの農家はスッポンを水田で採取していた。

(男性 70 代)
- 自然が年々少なくなる。子どものときの思い出がなくなる。

(男性 70 代)
- 昔との環境の変化が大き過ぎる。いろいろな活動に参加してみたいと思うが、高齢者のため残念。

(女性 70 代)
- 昔のように、蛍やトンボなど、自然の生きものなどが多くいるような環境になればよいと思う。

(女性 70 代)

## 6 公園・公共施設について 5 件

- 我が家は犬を 2 匹飼っている。犬と一緒に入れる公園が規制されていることが多く、悲しいと思う。確かにマナーが悪く、フンが放置されていることもあるが、人間もごみを放置していることが多いと感じる。人間も動物も同等にするべき。富士市は公園がたくさんあり、自然豊かで好きなまちだ。よりよいまちにするためにも、人間にも注意するべき。  
(その他 20 代)
- 新富士駅南口近くにある公園の桜の木が全て切られていたのがとても残念だった。暑いときに木陰になっているので涼むことができ、少しにぎやかではあったがセミもいて、自然と季節を感じることができた。やむを得ないことだったのかと思うが、残されている自然を生かす活動があってもよいと思う。何かを壊して新しいものをつくることより、ある物を生かす方法があるとうれしく思う。  
(女性 50 代)
- 公園に樹木が植わっておらず、宅地や企業の土地にある程度。土の地面を残すようにして、木々を植えてもらいたい。  
(男性 60 代)
- 公園内の木や花などを季節ごとに感じるのが大事だと思うので、大切にしたいと思う。体調不良のためできることは少ないが、やれることから少しずつ実行していきたい。  
(男性 70 代)
- 岩本山公園が近く、四季折々に花が咲き、それに伴い蛙・蝶・鳥などの珍しい生きものに出会える機会がある。健康でいきいきしている人たちが大勢山歩きをしていて、見ているだけでもうれしくなる。みんな自然を大切に、声をかけ合い、よいところに住んだと喜んでいる。欲を言えば、下草刈りが丁寧に行われるため、珍しい蘭などが次の年に出なくなり、残念。  
(女性 70 代)

## 7 景観・ごみについて 17 件

- 富士市における生物多様性は、富士山や愛鷹山などの景観維持にも非常に貢献していると思う。生物多様性を維持する活動をより深く進めていく必要があると思う。  
(男性 20 代)
- 生きものは大切にしたいので、人間の勝手な開発のために自然を壊したくない。汚染水やごみを極力減らす努力を市民全体でできたらよい。  
(女性 20 代)
- 水が汚いと花や生きものが育たないと思うので、そのためにもごみを川などに捨てないことや、生きものがストレスなく過ごせるようにするのは人間の役目だと思う。  
(女性 20 代)
- プラ削減。もっと化粧品の紙容器を全国で回収してほしい。  
(男性 30 代)
- 中央公園や浮島などはごみも落ちておらず、きれいでありがたいと思っている。子どもが生きもの、特に虫が好きなので、それにつき合っている。大人も楽しいが、疲れる。本当はコーヒーでも飲んで待っているほうが楽である。  
(女性 30 代)
- 富士市の川はごみのぼい捨てが多過ぎる。子どもをよく公園に連れて行くが、たばこのぼい捨てがひどい。生きもののためにも子どもたちのためにも、看板を立ててほしい。私は他県で生まれ育ったが、富士市はごみのぼい捨てがひどい印象がある。  
(女性 30 代)
- ぼい捨てなど、不法投棄した場合、重い罪を与えてほしい。生きものとふれ合う場所を新たに作り、広く宣伝し市民の意識改革をしてほしい。  
(男性 40 代)



- 道路にごみを捨てる人も多く、環境を整えないといけないと思う。田んぼも減り、自然が少なくなっているのは残念。  
(女性 40代)
- 川や小道などのごみが目につくことがよくある。地域での清掃活動を増やしていくことも必要だと感じる。  
(女性 50代)
- 特別な場所での保護も大切だとは思いますが、まず、身の周りの場所をきれいに保つようにしないと自然環境は維持できない。用水路や道路などのごみをきれいに保つことをしないと、特定の場所の保護はただのパフォーマンスにしかならないと思う。  
(女性 50代)
- 家庭菜園をしている。収穫物を取った残渣は土に返している。また、農薬も使わないでコンパニオンプランツを使用している。家で出た生ごみも肥料にして使用している。  
(女性 50代)
- 生活する上で、ごみについて、油分を捨てる量を少しでも少なくするために、紙で拭き取ってから、食器類を洗うようにしている。  
(男性 60代)
- 田子の浦港は、雨が降った次の日、海港がごみの塊。こんな汚いごみが流れてきては生きものも生きることができないと思う。自然の恵みのありがたさをもっと知ることだと思う。  
(女性 60代)
- 生物多様性を訴える市が、産業廃棄物を富士山麓に廃棄するのは理解できない。  
(男性 70代)
- 田子の浦、海の公園をウォーキングしているが、湾内や砂地にペットボトルが散乱している。ときどきライオンズクラブなどの活動を見る。市としての動きがあればと思う。まずは、収集は市で担当する方式で、数か所にペットボトル収集箱を設置したらどうだろうか。気軽に拾って美化活動に参加できる。  
(男性 70代)
- 岩本山のあらゆる道路の草刈り・枝払いなど、岩本山を大切にしてほしい。個人的に草刈り等は林を所有しているので行っているが、今のままだと山が崩れる。道路も悪いため、市民の生活道路をきれいにしてほしい。とても残念。  
(女性 70代)
- 毎日出るごみを収集してくださる人々の苦勞がよく分かるので、牛乳パックや缶や紙などもきれいに洗って外で水気を切って出している。近所に無人販売などもあるのでよく利用している。  
(女性 70代)

## 8 環境保全・緑化について 33件

- 緑のカーテンなど、いろいろ考えてみたいと思った。  
(女性 20代)
- 自然を守り、子どもがこの先も豊かに暮らしていけるよう、自分でできることはしたい。  
(女性 30代)
- 温暖化の原因は自然環境の変化だと思うので、自然や生きものが昔みたいに戻るよう、力になれることがあればやりたいと思う。  
(男性 40代)
- 自然環境保全をしてほしい。ソーラーパネルは設置するべきではない。  
(男性 40代)
- 強力な洗剤などを当たり前のように使用している。日々、当たり前にあるものがどのように作られているか、守られているか、これからどうやって守りながら生活していくか、話す機会をつくる。もっと便利なものが増えていくが、古くてもよいものも大切にしていきたい。  
(女性 40代)
- 子どもに「お前たちが環境保全しなかったからこんな世界になった」と言われたいようにしたい。  
(女性 40代)

- 生きものの住んでいる環境に対して、人間が必要以上に開拓をして環境を壊さないことが重要。  
(男性 50 代)
- 環境をよくしていくことが必要。  
(男性 50 代)
- もっと人間と生きものが一緒に生きやすい環境になればよいと思う。  
(女性 50 代)
- 温暖化に伴い、人を含む生きものが、ときに危機的な状況に晒されることがある。例えば、家庭内でも植物を植えるといった緑化活動に補助を出すなどして、緑の多いまちになるとうれしい。  
(女性 50 代)
- 自分にできることを行い、環境を守っていききたい。  
(女性 50 代)
- 生物多様性を守っていくためにも、他県他市で問題になっている、山を切り開いてソーラーパネルを建てるようなことは富士市では絶対に行わないでいただきたい。  
(女性 50 代)
- 人間が自然環境を壊すことのほうが害人だと思う。山の生きものが山で生活でき、里に下りてこないようにして、共存することが大切ではないか。  
(女性 50 代)
- 自然環境の整備が必要だと思う。  
(男性 60 代)
- 自然環境を守ることは、今後も大切なことだと思う。自然があるべき姿でいることが人の心を平穏に思う。  
(男性 60 代)
- 環境破壊や温暖化で先行きが不安。  
(男性 60 代)
- 環境保護。  
(男性 60 代)
- 現在、農業も行っていて、各季節に野菜類を無農薬で栽培して自家消費している。農地の周囲は桜・梅・柿などを植えるとともに、定期的に草取りや剪定を行い、環境保全を図っている。上記活動を継続したいと思う。  
(男性 60 代)
- 生物多様性については、これから人口減少社会に突入するため、開発を行うに当たってはスプロール現象を避け、空洞化している市街地について再開発することが望ましいと思われる。これにより自然環境を確保し、生物多様性社会を実現する必要がある。また、農林水産業を盛んにし、人間の手で環境保全を図ることが生物多様性にとって重要である。  
(男性 60 代)
- 自然環境の保護は大切なテーマであると思う。生物との共存がいかに人間の暮らしに必要であるか実施していきたい。  
(女性 60 代)
- 地球環境が悲鳴を上げているが、自分にできることは、自分の身の周りのこつこつした運動しかない。便利に流されず、これからも自分ができるエコを心がけたい。  
(女性 60 代)
- 富士川河川敷に行く道の下にある畑で、野焼きのように枯葉等を燃やしているが、火事や煙害の心配がある。煙が上がっているときは外に出ないようにしている。洗濯物にもにおいがつく。昔は成り立っていたかもしれないが、今の時代に合った見直しをすべきだと思う。迷惑しているが、今まで声を上げたことはない。そういった人は多い。  
(女性 60 代)
- 地球温暖化により環境が変化しつつある。自然は、人の力でできたものではないすばらしいものである。しかし、人の力で守ることはできるので、個人としてできることはこれからも心がけていきたいと思う。  
(女性 60 代)

- 一人一人が自己中心的にならず、地域やこれから先の子どもたちのことを考え、少しでもよい環境にするため、日々の小さな努力をすることだと思う。時代が便利になり過ぎ、大切なものや思いを忘れてしまっているように思う。多くの人に関心を持ってもらい、よい国になればと願っている。  
(女性 60代)
- 自然環境の元で生活しているので、改めてふれ合う必要もないが、森林の伐採が数多く行われて他県からの残土置き場が増えていて、森林破壊が進んでいることが大問題だと憤慨している。市はそのような現実を見過ごしていることをどのように考えているのか説明していただきたい。生きものどころか、人間が住める所ではなくなると思う。  
(女性 60代)
- 自然環境だからといって手を加える必要はないと思う。道路を整備したり、柵を作ったりせず、昔そのままでよいと思う。自然にしておけば、夏には蛍、秋にはトンボ、春には蝶と様々な生物が出てくる。わざわざ見にいかななくてもそれでよいと思う。人間が自然をつくるのではなく、人間も自然の一部になればよいと思う。  
(女性 70代)
- よい自然環境を保つために、今後いろいろと気をつけたいと思う。  
(女性 70代)
- 豊かな自然環境が守られ、いつまでも豊かなまちが形成されるとよいと思っている。  
(女性 70代)
- 今までの活動が精いっぱい過ぎてきた。自然環境の大切さは分かっているので、生活している中で無駄をしないよう、電気・ガス・水・食べ物など、できることをやる。  
(女性 70代)
- 豊かな自然が消滅したり、生きものが絶滅したりすれば、それはやがて人間が減ぶことにつながるのではとても大切なことと思う。  
(女性 70代)
- 浮島ヶ原など、周りの環境破壊が懸念される。  
(女性 70代)
- 一人一人が心がけることによって、さらに自然環境を保てると思う。  
(女性 70代)
- 身の周りのことを考え実行しないと始まらない。小さなことからでも少しずつ実行して広げていくのが大切。自然環境が悪くなると、戻るまで時間がかかる。20年、30年、50年単位で考えていかないと、取り返しがつかないと思う。  
(女性 70代)

## 9 自然体験・イベントについて 20件

- あまり興味がなかった。子どもが生まれたので、いろいろと体験させてあげたい。  
(女性 20代)
- 生物多様性は知っているが、富士市にどのような生きものがいて、どのような変化が起きているのかをあまりよく知らない。子どもと一緒に知る機会があったらうれしい。  
(男性 30代)
- 子どもが興味を持つと、親も興味を持つと思う。園や学校・支援センター・スーパーなどで、イベント情報が目に付くところにあるとよいと思う。  
(女性 30代)
- この場所に行けばこの生きものに会える、富士市には在来種・外来種はこのようなものがあるなどを知る機会が欲しい。  
(女性 30代)
- 自然はどんどんなくなっていく。農業の重要性を学びながら田畑を残すことの大切さを子どもに実感してほしい。温暖化に気をつける中で、郊外から街中への移住、郊外の自然化を考えていきたい。  
(男性 40代)

- 子どもへの教育をもう少し強めてほしい。虫や草花を平気で傷つける子どもが多い。リセットすればOKという考え方の子どもが多いせいだと思う。(男性 40 代)
- 自然体験の大人用イベントに参加してみたい。子どもがいないと、子ども向けイベントになっているので参加したくない。(男性 40 代)
- イベントのお知らせは気にして見ているが、時間的に合うものがない。習い事と重なり、いつも諦めてしまう。午前か午後の半日程度で、たくさんの人が参加しやすいイベントがあるとよい。熊や猿の問題が怖いと思う。山の管理や自然に対する人のマナーも大切だと思う。(女性 40 代)
- 虫や鳥が苦手なので、自分自身は積極的にはなれないが、子どもをキャンプに連れて行ったり自然塾へ行ったりしている。(女性 40 代)
- 自分自身も子どもも生きものが好きなので里山体験講座に参加したことがあり、楽しかった記憶がある。生物多様性という言葉を意識して生活しているわけではないが、ふだんの行いが生物多様性を守ることにつながることもあると思うと不思議な感じがする。(女性 40 代)
- サポーターの登録や自然観察会などを、広報ふじで大きく分かりやすく取り上げて、参加しやすくしてほしい。(女性 50 代)
- 自然豊かな地区なので、キャンプなどを通して生物多様性が学べたりすることができたらよいと思う。(女性 50 代)
- 苦手な生きものなどはあるが、森や川などへ出かけて緑にふれていると、とても気持ちがよいし、人も自然の生きものだと思うされる。自然から、癒やしだけでなく作物を頂けて生きているので、自然が失われつつある昨今の現状に怒りのような気持ちもあるが、日本が経済を発展させていくために仕方がないことだとも思っている。小さなことだけれど、自分にできることをできる範囲でやっていきたいと思っている。(女性 50 代)
- 我々よりも、もっと若い世代に自然とふれ合う教育の場を設けるべきだと思う。(女性 50 代)
- 自然環境とのふれ合いに関しては、若年層を対象とした生きもの、環境との実地体験のようなことを定期的に開催してはどうだろうか。(男性 60 代)
- 多くの市の施設で、生きもの・植物にふれ合える場所が欲しい。(男性 60 代)
- 生物多様性保全活動事業については、親が高齢になり負担が増えてきたことや、私自身の体調が思わしくないことで今の生活がいっぱいのため、可能なら自然観察会や里山体験講座に興味がある。(女性 60 代)
- 学校内の管理等が不十分である。子どもたちに身近な校庭内での自然環境の経験を進めてほしい、それに合わせ、植物・木の管理・理解にももっと力を注いでほしい。(男性 70 代)
- 家族で生きものが大好きになり、親子で、休日を自然の中で楽しむことができれば、生きものの大切さ・川や森の大切さを感じ、とても優しい心になるのではないかと思う。(女性 70 代)
- 若い世代の方々が楽しくふれ合えるように考えてほしい。(女性 70 代)

## 10 ボランティア活動について 9件

- 車を運転できないので活動に参加するのは無理。情報も入ってきていない。 (女性 40代)
- 自然環境は大切だと思っているが、自主的にやりたい・参加したいとは思っていない。 (女性 50代)
- 問 21-1 は、植えている物が外来種であれば生物多様性の保全には逆行する活動のように思う。富士市の取組についてはよく知らないが、富士市の地域の特性がどんなものなのか、またそれに応じた保全活動がどんなものなのかよく分からない。広大な富士山麓での廃棄物不法投棄の防止も、とても重要に思う。 (男性 60代)
- 虫が嫌いなので参加しない。 (女性 60代)
- 活動への参加は控える方向でいる。 (男性 70代)
- 体調の関係で何も参加することができない。 (男性 70代)
- 駆除作戦の参加は年齢的に無理。 (男性 70代)
- 目にふれる活動を増やして、関心を持たせていく。 (男性 70代)
- 自分自身の年齢を考えると、いろいろな行事に参加するのは無理だと考える。 (女性 70代)

## 11 ペットについて 6件

- 車を運転しないため、山や海まで行けない。市役所からバスを出してくれる保全活動があれば参加できる。 (男性 40代)
- 今、自分自身が所有しているものに対して責任を持つことが大切かと思う。ペットを家族として迎えたのなら、最後まで責任を持つことが大切だと思う。 (女性 40代)
- 生物多様性という言葉も意味も、今回初めて知った。文章の中で「自然の減少」や「外来種」のせいで生物多様性が失われていくことは、将来にとっても不安でしかない。とりあえず自分たちでできること、例えばペットとして飼っていた外来種を逃がさない、捨てないことをしていく。最後まで責任を持って飼うこと。 (女性 50代)
- 最近のメダカブームが気になる。詳しいことは分からないが、人工的に作り過ぎなのではと思う。 (女性 60代)
- 環境美化活動をしている人に感謝している。 (女性 70代)
- ペットを放さない、持ち込まない。 (女性 70代)

## 12 生物多様性に関する情報提供について 10 件

- 生物多様性について知る機会が欲しい。人間と生物が共存していくまちづくりは非常に重要だと感じる。そのため、生物多様性を知る機会、また、環境の取り組みに参加した人は特典があるなど、気軽に取り組めるような活動を増やし、環境保全していければよいと思う。 (女性 20 代)
- 情報発信はとても大事だと思うが、市民が身近に感じながら関心を持ってもらえるよう、活動や発信の視野を広げていただけるととてもよいと思った。 (女性 30 代)
- やはり活動していても知らないということが多いので、まずは周知の方法などを工夫してほしい。 (男性 40 代)
- 本来なら食用として輸入された外来種を駆除するだけでなく、一般の人でも簡単にできる調理方法を教えてくれるサイトがあってもよいと思う。 (女性 40 代)
- 育てられなくなると、川に放す。生態系が変わり汚染されることが増えてきていることを、テレビで流すことで情報を知るのはよいことだと思うが、それを戻すのに費用がかかるのでやりきれない。市で情報をもっと発信すべきだと思う。 (女性 50 代)
- 市内に生息する生物や植物をもっと大々的に公表してもよいと思う。 (男性 60 代)
- 生物多様性の活動をどのように知ればよいか教えてほしい。 (女性 60 代)
- 外来種・在来種の区別が分からない。富士市の広報などに載せてもらえたらよい。 (男性 70 代)
- 外来種が在来種に危害を及ぼすなどのニュースを聞くが、起因は人間。繰り返し、対策啓発等の情報提供・公開を行っていく。 (男性 70 代)
- 「生物多様性ふじ戦略」というものがあることを初めて知った。この内容は高齢者というより、若年層に周知することが大切だと思う。 (女性 70 代)

## 13 その他について 11 件

- 現在は物価高騰や増税などで、自分たちの生活に手いっぱい。在来種を絶滅させてはいけないという意識はあるが、そちらにまで手は回らない。 (女性 20 代)
- 今さら何をして、人間のエゴな気がする。 (女性 30 代)
- 市に強要されることではない。 (女性 30 代)
- 言葉が分かりづらい。 (男性 40 代)
- 富士市で活発に行われるように期待。 (女性 50 代)
- よく理解していない。 (男性 60 代)
- 山梨県から富士市にきて約 8 年が経つが、まだよく分からないことが多い。 (男性 70 代)

- まもなく身を隠さなければならない高齢者である。新富士駅・富士駅をモノレール等で往来できるように風通しをよくしなければならない。新富士駅誕生時の経緯については、もう過去の話。これから生きる若者たちのために、ぜひお願いしたい。どんなに子育て・少子化問題と呼んでも解決の道は閉ざされたまま。富士駅北口の開発と同時に、この機会を生かすべき。若者たちのためにぜひ計らってほしい。人口減少も少子化問題も一気に解決するだろう。世界遺産の富士山が見える富士駅・新富士駅は日本一になる。  
(男性 70代)
- 70歳を過ぎ、全てに前向きに生きていた頃が懐かしいと感じる。今は自然とふれ合うより、生活環境の整った暮らしができる人が羨ましい。車の運転ができなくなったら、バスがなく、店舗も病院もない。自然だけは豊富にある地域だが、今は転居を考えている。  
(女性 70代)
- 自身の体が思うように動かない。協力できなくてすみません。  
(女性 70代)
- 子どもの世界では話が合わず、別行動などは何かと変な子ども扱い。いじめに近い周囲の状況の中で折り合いをつけながら学校生活を送りつつ、孫を応援しつつ、大人の世界の私は近所の外来植物らしきものを発見しても、何の手出しも口出しもできない現実打ちのめされている。そんな多くの人に知識を、伝える勇気の後押しが欲しい。  
(女性 70代)